

タ イ	プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
				調査の 種 類	調 査 期 間	人 数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
								継 続	新 規				
		週間の日程で派遣され、バンコクにおいて農業および協同組合省水産局首脳陣と会談したほか、ラヨン海洋漁業試験場を訪問し、スミサコンパイロットファームで必要とする種苗生産技術の強化を図った。 昭和52年11月には、エバリュエーションチームを派遣し、昭和48年4月から協力を開始した本プロジェクトの最終年度として、これまで日本側が協力をを行った内容について、その達成効果について測定した。 また、現在の問題点について調査し、今後のプロジェクト運営についてのアドバイスを行った。											
	天然ゴム品質改善 Technical Cooperation on The Development of Natural Rubber Processing 協定等の種類：R/D 署名年月日：52.4.1 協力期間： （当初）52.4.1～ 55.3.31 （延長）55.4.1～ 57.3.31	ASEAN5カ国は、世界の天然ゴム生産の大部分を生産しており、それぞれ重要な輸出品となっているが、近年その製造方法もスモークラバーからT Sラバーに転換しつつあり、製品の品質の向上規格化が必要とされるに至り、わが国に対し技術協力の要請がなされた。 この要請に対しわが国は、昭和51年1月ASEAN5カ国を対象に事前調査を実施した。その結果、当初予定していたインドネシアよりタイが協力の対象として適合していることが明らかになった。 昭和52年3月には実施調査団を派遣し、	50	事前調査	50.1.19～ 50.2.17	(4)	(922)					(922)	
			51	実施調査	51.3.17～ 51.4.6	5	3,228			417		3,645	
			52	計 画 打 合 せ	52.8.29～ 52.9.7	2	1,510		5	6,195	加硫用プレス オゾンテスター	54,246	61,951
			53				164	3	3	30,930	バンバリーミ キサー、自動車	5,744 25,685	60,523
			54				155	2	6	30,945	加硫計、比重 計	4,814 11,744	44,658
			55	エバリュエ ーション	56.2.26～ 56.3.11	2	1,544	4	6	34,517	押出機、遠心 分離機、GPC 測定用高速 液体	4,846 79,053	119,960
			56	巡回指導	56.11.25～ 56.12.9	5	3,593	2	5	36,718	レオ・メータ ー予備品、ム ーニー・ビス コメーター予 備品	3,042 19,747	63,650

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家			機材供与		経費総額 (千円)																
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)																	
							継続	新規																				
(フォローアップ) 57.4.1～58.9.30	ASEAN5カ国天然ゴム開発技術協力の 一環としてタイにおける協力の基礎となる べき事項につき、協力内容、実施方法をタイ 側と協議し、討議議事録を作成し、これ に署名した。  協力の内容は、協力期間を3年間とし、 農業協同組合省農業局に所属するゴム研究 所の技術部に対し、①品質管理の推進、② 既存のゴム産業に対する助言、③人材の養 成の協力をプロジェクト方式により実施す るというものである。  〔カウンターパート受入実績〕 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>年度</td> <td>52</td> <td>53</td> <td>54</td> <td>55</td> <td>56</td> <td>57</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>10</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </table>	年度	52	53	54	55	56	57	58	人数	10	3	2	4	3	0		56				550						
		年度	52	53	54	55	56	57	58																			
		人数	10	3	2	4	3	0																				
		57					① 134	4	2	34,736	マイクロバス レオメーター スペアパーツ、 パソコン	① 1,717 11,460	48,047															
58					① 90	4	3	22,230	乾燥用オーブ ン、マッフル 炬、可塑性計、 ギャーオープン	① 1,156 5,268	28,744																	
貿易研修センター The Trade Training Center 協定等の種類：R/D 署名年月日：58.9.5 協力期間： (当初)58.9.5～ 62.9.4 相手国機関： 商務省輸出振興局 国内協力機関： 通産省、農水省	タイは、貿易実務に精通した人材が不足 しており、また、輸出品の規格及び品質 管理基準も国際水準に達していないため、 ①国際貿易実務に精通した人材の養成、② 輸出品の規格及び品質管理基準の設定、 ③輸出品の規格品質を検査する人材の養 成、④輸出品の広報・普及等の活動を行 う「貿易研修センター」の設立を計画し、 わが国に無償資金協力及び技術協力を要請 してきた。これを受けて15億円の無償資 金協力によるセンターの建設(昭和58年 12月完成)を行い、また技術協力につい	57	事前調査	57.9.20～ 57.10.3	7	4,043			—		—	4,043																
		58	実施協議	58.8.28～ 58.9.7	6	① 3,303 3,661	0	3	5,641		① 32	12,637																
		59	計画 打合せ	59.8.19～ 59.8.25	6	① 3,588 3,699	1	9	83,850	マイコン、た ん白測定機、 パーツ	① 8,394 6,301	105,832																
		60				① 41	6	5	109,070	トランスペア レンシー複写 機、レタリン グシステム	① 3,665 719	113,495																

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家			機材供与		経費総額 (千円)									
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)										
							継続	新規													
	<p>では、昭和57年9月に事前調査団を派遣した。</p> <p>その後、昭和58年9月に派遣された実施協議チームによりR/Dの署名が行われ、4年間にわたる技術協力が開始された。また昭和59年度には、計画打合せチームを派遣した。</p> <p>[カウンターパート受入実績]</p> <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>57</td> <td>58</td> <td>59</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>3</td> </tr> </table>	年度	57	58	59	60	人数	0	0	6	3										
年度	57	58	59	60																	
人数	0	0	6	3																	
とうもろこし品質向上計画 Maize Quality Improvement Research Centre Project 相手国機関： 農業協同組合省農業局 国内協力機関： 農水省	<p>タイで生産されるトウモロコシは、家畜用飼料としての輸出産品であるが、近年カビの発生により品質の低下を招いており、昭和59年8月商務大臣、12月副首相の訪日にあたり、トウモロコシ品質向上対策についての技術協力を要請してきた。</p> <p>わが国はこれを受けて昭和60年2月要請内容に必要な情報収集のためのコンタクト調査を実施し、更に昭和60年10月に事前調査団を派遣し、具体的要請内容の把握と現地調査を実施した。</p>	59	コンタクト	60.2.20~ 60.2.27	6	3,000			—		—	3,000									
		60	事前調査	60.9.30~ 60.10.11	6	5,236	0	2	1,566		30	6,632									
金属加工・機械工業開発振興 Metal Working and Machinery Industries Development	<p>タイ政府は、経済自立促進、経済基盤強化のため、1981年10月から始まった第5次国家経済社会開発5カ年計画において、中小企業の育成を図っている。</p> <p>その一環として、①金属加工技術の訓練、</p>	60	事前調査	60.6.4~ 60.6.18	6	5,666	0	3	2,923		—	8,589									

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数 継続 新規	経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)	
Institute 協定等の種類：R/D 署名年月日：61.7.29 協力期間： (当初)61.10.1～ 66.9.30 相手国機関：工業省 国内協力機関： 通産省，朝素形材セ ンター	②中小企業工場への助言及び指導，③生産 技術の開発，受託，試験等を目的とする金 属加工・機械工業開発研究所(MIDI)の 設立を計画し，わが国に対して技術協力を 要請してきた。 本件については，無償資金協力による研 究所の建設が進行しつつあるが，これに続 く技術協力の可能性を検討するため，昭和 60年6月，事前調査団が派遣された。										
天然ゴム開発技術協力 事前調査 調査期間：51.1.19～ 51.2.17	(インドネシア，マレーシア，シンガポ ール，フィリピン，タイ) アジア一般を参照のこと。	50	事前調査	1.19～2.17	(4)	(922)					(922)

(開発調査方式技術協力)  
開発調査事業

№	プロジェクト名	概要	年 度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	東南アジア・デルタ調 査	(ビルマ，インド，パキスタン，台湾，タイ) アジア一般を参照のこと。	37	投	37.10.20～38.2.9	(3)	(613)
2	東南アジア域内電気通 信網整備計画調査	(インドネシア，ラオス，マレーシア，フィリピン，タイ，台湾，ヴェトナム) アジア一般を参照のこと。	42	投	42.10.7～42.11.11	(6)	(693)
3	プロジェクト選定確認 調査	① (マレーシア，フィリピン，タイ) アジア一般を参照のこと。 ② (タイ)経費については，アジア一般を参照のこと。	41	事前調査	41.7.19～41.8.12	(3)	(972)
			51	事前調査	51.7.26～51.8.4	3	(1,382)

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
4	ラムナイ地区開発計画調査	同地区の現状調査ならびに、わが国協力の在り方検討。	35		35.11. ~35.12.	5	2,925
5	南部道路建設計画調査	アジア・ハイウェイの一区間である同国南部65kmを建設するための調査。	35		36. 2. ~36. 3.	5	2,586
6	水産資源開発計画調査	タイのインド洋沿岸地域において真珠母貝資源の調査。	37	投	38. 2. 8~38. 3.31	7	3,327
			38	投	38. 4. 1~38. 4.14	(7)	599
7	農業開発計画調査	タイ農業の現状および問題点を把握し、これにもとづき農業調査の実施計画ならびに将来の開発方針の検討。	37	投	38. 2.28~38. 3.31	5	2,212
			38	投	38. 4. 1~38. 4. 7	(5)	406
8	ソクラ港建設計画調査	同港の改良及び拡張計画立案のための基礎調査。 将来の発展等を考慮した段階的マスタープラン策定のためのフィジビリティ調査。	40	投	40.11. 9~40.12.13	6	3,665
			41	投	42. 3.25~42. 7. 2	5	4,421
			42	投	42. 6.17~42. 7.16	6	14,736
			45	実・設	45.11.17~45.11.28	4	1,803
			46	投	46. 8.16~46.11.28	15	37,961
			47	投	47. 6.26~47. 7. 5	5	4,173
9	東南アジア・ケーブル計画調査	台湾-フィリピン-タイ間ケーブル建設のためタイのケーブル陸揚地点の選定等。	40	投	41. 3.24~41. 3.31	5	1,779
			41	投	41. 4. 1~41. 4.22	(5)	2,113
10	テレビジョン放送網建設計画調査	タイ政府は各地に送信所及びマイクロ波中継所を建設してテレビを全国中に中継することを決定、この計画設計建設のための調査。	41	投	41. 5.23~41. 8.30	7	10,893
11	バンコク~トンブリ間架橋計画調査	① 第1橋建設計画 首都圏の中核をなすバンコク~トンブリ両都市間を結ぶ交通網整備のためチャオピア河地点に第一橋の架橋建設計画を立て地形、地質等の調査。	42	投	42.12. 3~43. 3. 9	8	17,262
			43	投		0	3,274
			44	実・設	43. 7.14~43. 8. 2	8	38,950
			43	投	44. 3. 2~44. 4.13	9	6,457
			44	実施調査	44. 8. 9~44. 8.23	5	18,607
			44	報告書説明	45. 3.23~45. 4. 8	4	
12	地方都市水道施設拡張計画調査、同実施設計調査	東北地方ナコンラチャシマ市と北部地方チェンマイ市の上水道施設整備拡張計画に関するフィジビリティ調査。 ① 46年度事前調査結果の報告書を提出した。 ② 46年度に引き続いての実実施設計調査、およびそれに基づくドラフトによるタイ側への説明、討議を行うとともに、チェンマイ市についての実実施設計	45	実施調査	46. 3. 8~46. 4. 4	4	7,479
			46	報告書説明	46. 8. 8~46. 8.22	3	7,117
			47	実・設	47. 6.26~47. 9.28	17	84,465
			48	報告書説明	47.12.26~48. 1.19	3	
			48	報告書説明	48. 3.31~48. 4. 9	5	

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
		に関連する業務を行った。					
13	食肉加工業開発計画調査	口蹄病等の家畜伝染病の問題、食品衛生の処理面等現地調査。	46	事前調査	46. 5. 9~46. 5.30	5	3,056
14	鉄道建設計画調査	① プレ・フィージビリティ調査 アジア鉄道幹線網の一環として考えられているバンコクからビルマ国境付近のメソドに至る鉄道路線の延長について輸送需要、路線踏査等の調査を行い、技術的、経済的に有利なルートを選定しようとするもの。	46	実施調査	46.11. 1~46.11.30	8	10,786
			47	報告書説明	47. 7. 5~47. 7.14	3	2,483
		② 鉄道改良計画調査 タイ国鉄延長4,000 kmの区間にかかる214千橋の補強、架け替え計画に係る調査。今回の調査は、本調査の実施計画策定に必要な資料の収集、現地状況の確認、S/Wの協議を実施。 50年10月に実施した事前調査の結果に基づき橋梁の現況調査を行い、改良つけ替えを必要とする橋梁について適切な措置を検討。	50	事前調査	50.10.19~50.11. 7	4	2,827
			51	実施調査	51. 2. 2~51. 3.31	11	23,634
			51	実施調査	51. 8.10~51. 8.24	5	80,927
	実施調査	51.11.15~51.11.23	5				
15	バンコク首都圏電話網整備拡充計画実施設計調査	① 中継線関係実施設計 首都圏の電話網整備拡充計画のうち中継線関係の実施設計調査を行い報告書を作成。	47	実・設	47. 4.23~47.10.11	13	50,718
				報告書説明	47.12. 5~47.12. 19	2	
		② 市内電話線路網実施設計 バンコク首都圏は、人口約300万人に対し電話網整備状況は電話局数21局、端子数約16万であり、1972~76年の5カ年計画で電話局数40局、端子数30万と大規模な設備拡充をする計画である。これに伴ない市中心部の5電話局(Krungkasem, Ploenehil, Thungmahamek, Trokchan, Pathumwan)について、市内線路網の実施設計を行った。 49年度は、前年度から引続き現地調査を実施し、その結果に基づき実施設計の上、報告書を提出し完了した。	48	実・設	48.12.13~48.12.21	4	24,984
				実・設	49. 2.11~49. 3.31	12	
			49	実・設	49. 4. 1~49. 8.16	(12)	99,979
				実・設	49. 6.27~49. 7.16	5	
				報告書説明	49.11.13~49.11.23	3	
		③ 新增設5電話局市内線路網および中継線網実施設計 同国政府は第4次国家経済開発計画の重要施策となっているタイ電話公社の第3次電話網拡充計画の一環としてバンコック市内電話網の実施設計をわが国に要請してきた。これに応じて昭和54年度にバンコック市に新增設する5電話局の線路網実施設計に関し現地調査と長距離市外電話建設計画のフ	51	実・設	52. 2. 9~52. 3.31	11	34,088
			52	実・設	52. 5.10~52. 5.19	4	33,103
				実・設	52. 5.16~53. 3.29	25	193,577
53	実・設		53. 8.21~54. 2.20	14	114,161		
		実・設	54.10.24~55. 3.21	11	121,099		

年度	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		イージビリティ調査を、また55年度には同実施設計報告書と各種設計図を作成した。 54年度は実施設計報告書および各種設計図を作成し、相手国政府関係機関に説明を行った。	55	実施調査	55.7.21~55.7.30	3	38,985
16	首都圏環状道路計画調査	バンコク・トンブリ両市にまたがる大バンコク圏の域内交通事情緩和のための環状道路建設計画についてのフィジビリティ調査を行い報告書作成。	47	実施調査	47.7.20~47.11.17	16	31,417
			47	報告書説明	47.12.20~47.12.28	5	
17	バンコク・ドック建設計画調査	大型船を対象とする船舶修理工場の新設計画についてのフィジビリティ調査を行い、設置地点案としてチャオプラヤ川西岸河口付近を提案。	47	実施調査	47.7.25~47.9.22	2	5,605
18	シーバース建設計画調査	シラチャ地区にシーバースを含めた石油精製基地建設計画に関するフィジビリティ調査を計画したが、タイ側の都合により測量のみ基礎調査を実施。48年度においてフィジビリティ調査。	47	実施調査	47.9.25~47.10.25	6	15,668
			48	実施調査	49.1.17~49.2.13	9	5,958
			49	報告書説明	49.8.28~49.9.5	3	4,419
19	バンコク首都圏水道施設建設計画調査	① 5地区水道拡張計画調査 首都圏周辺の各行政地区のうち5地区に対し、水道施設を建設する計画に対しフィジビリティレポートを作成。 ② 残り4地区水道拡張計画調査。	47	実施調査	48.3.21~48.4.20	8	9,633
			48	報告書説明	49.3.10~49.3.16	3	18,750
			51	実施調査	52.1.23~52.3.28	12	48,600
			52	報告書説明	52.3.13~52.3.28	3	
			52	実施調査	52.10.6~52.11.14	6	29,936
53	報告書説明	53.5.30~53.6.7	7	65,333			
20	ターチン・メクロン川河川公害調査	タイ国においては、1973年5月、メクロン川に発生した製糖工場廃液による河川水質汚染問題を契機に公害問題が大きな問題となり、政府としても当面の対策を講ずる必要に迫られている。タイ国政府は、公害対策を必要とする11地区を指定し、わが国の協力を要請越したものである。 49年度は、タイ側の態勢、資料の整備状況等の現状を把握する等を目的として現地調査を行った。 50年度は、調査結果をとりまとめ報告書を作成した。	49	事前調査	49.6.23~49.7.6	6	2,431
			50	事前調査		0	240
21	チャオピア河下流域西岸地区かんがい農業開発計画調査	タイ政府は、タイ国中央平野のチャオピア河下流西岸地区12,300 haを対象として、農業基盤整備及び農業普及、農業組織等の関連事業を含む同地区の農業総合開発計画を策定し、その技術経済面での実施可能性を検討する事を目的	51	事前調査	51.10.18~52.2.12	21	37,209
			52	実施調査	52.4.10~52.4.17	4	48,989

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		として、わが国に調査を要請してきた。この要請に基づき、昭和51年度に事前調査を実施し、引続き水文、水利、土壌、営農、経済立地等に係わるフィージビリティ調査を実施した。 昭和52年度は、乾期における計画地区の干陸時の状況等の調査を補完調査として、実施し、ドラフト・ファイナル・レポートを経て、ファイナル・レポートを作成し送付した。					
22	パタヤ地区基盤整備計画調査	観光開発がタイ国の経済・社会開発に果たす役割は大きく、外貨獲得源としてはゴム・米に次ぐ第3位を占めることから、タイ政府は観光開発に積極的意欲を示し、特に同国の首都に近接した観光地域として有望なパタヤ地区(バンコックの東約150km)の合理的な開発基本計画の策定と開発に伴う基盤整備計画についてわが国に調査を要請してきた。昭和51年度は事前調査の実施後、M/P策定のための現地調査を行い、プログレスレポートを作成した。昭和52年度は中間報告の作成・提出とともに緊急性の最も高い2~3のインフラプロジェクトについてフィージビリティ調査を実施した。	51	事前調査	51.10.21~51.11.3	6	59,301
				実施調査	52.1.30~52.3.17	20	
			52	実施調査	52.8.10~52.9.8	4	7,782
				報告書説明	52.8.18~52.8.27	6+(1)	95,385
				実施調査	52.12.19~53.2.11	16	
			53	実施調査		0	51,545
				実施調査	53.5.10~53.11.7	27	121,512
23	職業訓練センター建設計画調査	タイ政府は、第4次5カ年計画の一環として、タイ東北部の中心地コンケン市に職業訓練センターを建設する予定であり、わが国に協力を要請してきた。この要請に基づいてセンター建設のための基本設計を昭和51年度に実施し、昭和52年度は基本設計の確認、とりわけ、機材のレイアウト、機材の確定を相手国政府関係者と協議した。	51	特	52.1.24~52.2.8	10	28,597
			52	特	52.7.13~52.7.22	5	8,397
24	カセサート大学施設整備計画調査	タイ政府は、カセサート大学のバンケン及びカンパンセン、両キャンパスの施設拡充を計画し、普及分野の拡大強化に必要な施設、設備、機材及び技術者を対象とする無償及び技術協力を要請してきた。この要請に基づき、同計画概要の把握、要請内容の確認、協力の可能性及びその範囲、具体的な供与対象物件の検討に必要な資料収集を目的とする事前調査を実施した。引続き事前調査の結果を踏まえ、総合研究センターの基本設計調査を実施した。	52	特(事前)	52.7.17~52.7.31	7	40,576
				特	52.10.17~52.10.31	11	
			53	特		0	304
				特	53.11.7~53.11.18	7	26,953
				特(報告)	54.3.1~54.3.6	3	
			54	特		0	65
25	メクロン川流域マスター・プラン調査	タイ政府は、水稲作付け面積および単位面積当り収量の伸び悩みに対処するため、既存幹線水路の効率的利用を図り、圃場整備を中心とする農業開発を推進するため、メクロン川流域農業総合開発計画の策定についてわが国に協力を	52	事前調査	52.7.18~52.9.2	12	21,404
				実施調査	52.12.13~53.3.25	17	85,058
			53	事前調査	(報告書作成費)	0	110



年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
53	実施調査	(報告書作成費)	0	79
	実施調査	53. 7.12~54. 2.28	22	147,062
	実施調査	54. 8. 6~55. 2. 9	17	92,971
26	事前調査	53. 2. 6~53. 2.26	5	3,327
	実施調査	53. 7.17~53.10.15	13	105,415
	報告書説明	54. 1.24~54. 1.30	4	
27	事前調査	53. 7.12~53. 7.26	5	3,044
	実施調査	53.11.12~53.12.30	11	72,804
	報告書説明	54. 6.27~54. 7. 4	6	14,530
28	実施調査	53.12. 5~54. 3.18	13	38,095
	実施調査	54. 6.18~54. 7.21	7	56,613
	実施調査	54. 9.24~54. 9.29	3	
29	事前調査	54. 1.22~54. 2. 3	5	2,391
	実施調査	54. 8.26~54.10. 1	10	80,669
	報告書説明	55. 2. 7~55. 2.15	5	

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		<p>ックターミナルを建設し、効率的な貨物輸送を計画したものである。昭和53年度は先方の意向聴取、現地踏査および本格調査実施方針の協議のための事前調査を実施した。</p> <p>54年度は本格調査を行い、ファイナル・レポートを作成した。</p>	55			0	109
30	メワンかんがい農業開発計画調査	<p>タイ国は第4次5カ年計画において農業開発を最重点項目に掲げるとともに開発の遅れている北部タイの開発については、同地域の経済的安定を図るうえでとくに重視している。その一環としてタイ国政府は北部タイのランパン(Lang Pan)市近郊、メワンMAE-WANG川両岸に広がる約17,300haを対象とした、かんがい農業開発計画を立て、わが国に協力を要請してきた。この要請に基づき、フィジビリティ調査の実施に先立ち調査実施方針、調査範囲、調査項目、調査方法の検討、現地踏査および関係資料の収集のため、昭和54年2月事前調査を実施した。</p> <p>54年度はフィジビリティ調査を行いレポートを作成した。</p>	53	事前調査	54. 2.22~54. 3.14	5	3,424
			54	事前調査	(報告書作成費)	0	941
				実施調査	54. 7.15~54.10.13	17	111,127
				実施調査	55. 2.26~55. 3. 4	3	
31	バンコック市下水道および都市廃棄物整備計画調査	<p>① チャオピア河口附近に位置し、極めて平坦な(標高差1m前後)バンコック市は地区内排水上致命的なハンディを負っている。近年人口の急増と工業化の進展により排水・下水および都市廃棄物処理が都市社会問題に発展している。</p> <p>市当局も1977年10月排水・下水局を設立し、事業推進に本格的に取り組もうとする姿勢をみせてきた。1968年米国のコンサルタントによって策定された同市排水・下水マスター・プランでは多額の投資を必要とし、下水については今日までほとんど実施されていない現状にある。また、都市廃棄物処理については、現状および将来に対する方策の検討がなされないままに種々の政策が実行されているために、斉合性のとれた効率的事業執行が行われていないのが現状である。</p> <p>昭和53年度は、先方の意向聴取、現地踏査および調査方針等の協議を目的とする事前調査を行った。</p> <p>54年度はM/P作成のための基礎調査を行った。</p>	53	事前調査	54. 2.28~54. 3. 7	3	997
			54	実施調査		0	182
				実施調査	54. 8.16~55. 2.29	9	67,010
				実施調査	54.11.18~54.11.27	5	
				実施調査	55. 1.19~55. 2.29	3	
				実施調査	55. 2.11~55. 2.20	4	
			55	実施調査		0	971
		② バンコック市下水道整備計画調査	55	実施調査	55. 7.20~55.10.17	14	

タイ

年度	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		<p>バンコック市下水道整備事業につき、2000年を想定したM/Pの策定および整備緊急度の高い地区の下水道についてF/Sを行うもの。</p> <p>昭和55年度はプログレス・レポートの作成と、中間報告書の作成までを実施した。</p> <p>昭和56年度は、M/PについてはD/Fの説明、協議および最終報告書の作成、F/SについてはS/W協議、現地本格調査および国内解析作業を行った。</p> <p>③ バンコック市都市廃棄物整備計画調査</p> <p>急激に都市化するバンコック市のごみ処理が追いつかず、悪臭、水質汚せんなど問題化している。このため首都バンコック市の都市廃棄物処理システムの長期・短期計画を策定するものである。</p> <p>昭和55年度は長・短期の計画策定に必要な基本的データの収集と解析を行い、基本的構想をまとめた。</p> <p>昭和56年度は、前年度に実施した基礎調査の結果を受け、現地本格調査を行った。</p>	55	実施調査	55.10.9~55.10.24	2	156,116
	56		実施調査	56.1.21~56.1.29	6		
	56		実施調査	56.5.18~56.11.4	20	155,954	
	57		実施調査	57.2.22~57.3.3	7		
	57		実施調査	57.6.7~57.6.16	6	50,471	
	55		実施調査	55.5.7~55.5.15	3	124,293	
	56		実施調査	55.6.10~56.1.31	24		
	56		実施調査	56.2.1~56.3.31	4		
	56		実施調査	56.2.17~56.4.20	3		
	56		実施調査	(報告書作成)		2,285	
	56	実施調査	56.5.18~56.12.23	31	228,013		
	57	実施調査	57.1.23~57.3.20	2			
	57	実施調査	57.4.19~57.8.31	10	101,899		
32	AIT図書館建設計画	<p>The Asian Institute of Technologyはタイ政府の特別立法に基づき設置された高等教育機関で、各国からの拠出金により1967年11月開校し、諸施設が順次整備されつつあるが、さらに図書館を整備することとし、これの基本設計について協力の要請があった。このため、現地調査のうえ本図書館の基本設計報告書の作成を行った。</p>	53	特	53.5.28~53.6.8	6	31,480
			53	特(報告)	53.8.20~53.8.26	3	
33	長距離市外電話網建設計画調査	<p>第3次電話網拡充計画(1977-84)の一環として、遠隔地に長距離市外電話サービスを可能ならしめるため、国内422地域(はかに47移動局)の長距離市外電話網に係る最適の伝送システムについてF/Sに係るS/W協議および現地調査ならびに報告書の作成を行った。</p>	53	実施調査	53.8.10~54.1.10	6	75,078
			53	実施調査	53.12.11~53.12.24	2	
34	ノンブア・バンラムチボン間道路建設計画調査	<p>タイ国政府は、幹線道路の整備とともに地域開発と直結する地方道路網の整備に重点をおいているが、本件道路計画は地方道路の一つであり、タイ北西部にあるメコンサワン県のノンブアからペチャブーン県を横断し、北東部のチャイファブーン県にあるバンラムチボンに至る延長約130kmの道路建設計画である。</p>	54	実施調査	54.6.10~54.9.22	12	104,520
			55	報告書説明	55.1.10~55.1.16	4	

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
35	青少年福祉センター建設計画調査	タイ国政府は、同国の人口増加にともなう福祉政策の一環として青少年福祉センターの建設を計画し、わが国に対し無償資金協力を要請してきた。 これに応じてわが国は、タイ側政府関係機関と協議し、基本構想を含めた基本設計報告書を作成した。	54	特	54. 6.10~54. 6.24	8	35,769
			〃	特	54. 8.13~54. 8.19	3	
36	ベチャブリかんがい農業開発計画調査	バンコックの南西約 150 kmに位置するベチャブリ県ベチャブリ市周辺の地区約 60,000 ha を本計画の対象とし、末端圃場整備を主体とする灌漑農業開発計画である。昭和 54 年度の事前調査、昭和 55 年度の第一次実施調査に続き、昭和 56 年度は第二次実施調査を行い、昭和 57 年 3 月に最終報告書を作成した。	54	事前調査	54.11.14~54.12. 1	5	3,463
			55	事前調査		0	4,433
			〃	実施調査	55. 7. 9~55. 7.18	3	106,878
			〃	実施調査	55. 9. 8~56. 4.30	1	
			〃	実施調査	55.11.19~55.12.10	8	
			〃	実施調査	55.12. 1~56. 1.31	5	
			56	実施調査	56. 6. 1~56. 8.11	14	90,211
			〃	実施調査	57. 1.20~57. 1.26	5	
57	実施調査	( 報告書作成 )	0	307			
37	農協組織育成計画調査	同国政府は農業の生産性向上と農民の所得向上・安定を図るためには農民組織の育成・強化が最重要事項であるとして、わが国に農協組織の経営・管理と財政面にわたる協力を要請してきた。本要請に基づき日本政府は昭和 54 年 11 月に事前調査団を派遣し、さらに昭和 55 年 3 月に SW 協議チームを派遣した。さらに昭和 55 年 7 月に実施調査団を派遣し、農協組織育成計画の基本構想を策定すると共に報告書説明チームを派遣し、同国政府関係機関と協議の上、報告書を作成した。 昭和 56 年度は前年度に策定した農協組織育成基本計画に基づき個別農協振興計画を策定した。	54	事前調査	54.11.19~54.12. 8	8	10,128
			〃	実施調査	55. 3.27~55. 4.16	4	2,299
			55	事前調査		0	811
			〃	実施調査	55. 7.11~55. 8.31	3	47,981
			〃	実施調査	55. 8.25~55. 8.31	3	
			〃	実施調査	55. 9.17~55. 9.26	3	
			〃	実施調査	56. 1.25~56. 1.30	5	
			56	実施調査	56. 7.12~56. 7.17	5	66,656
			〃	実施調査	56. 7.29~56. 9.25	6	
			〃	実施調査	56. 9.15~56. 9.22	3	
〃	実施調査	57. 1.10~57. 1.15	7				
57	実施調査	( 報告書作成 )	0	60			
38	カンボディア難民センター生活用水供給計画調査	カンボディア・ヴェトナム両国の長期にわたる戦火に追われたカンボディア難民( 50~70 万 ) に対し、同国政府は受入れ基地の建設、食糧、医療、生活用水等の対応に苦慮したため、外国政府、国際機関に協力を依頼した。こ	54	特	54.12. 9~55. 4.19	23	101,565
			55	特	55. 4.20~55. 9.30	9	70,416
			〃	特	56. 3.18~56. 3.28	4	

No	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)	
		れに対しわが国では調査団を派遣し、難民センターにおける生活用水の供給対策が緊急かつ重要であるとした。調査対象地域はタケオ、マイルートの2カ所とし、表流水、伏流水、地下水開発による水資源の確保を検討するため現地調査を実施した。	56	特	56. 6. 7~56. 8. 27	15	90,713	
39	マハラート病院建設計画調査	マハラート総合病院は、タイ国南部の中心地ナコンシタマラートにある既存の病院を廃止し、同じ敷地内に1,000ベッドを保有する地域の拠点病院を新たに建設する計画である。同病院は近隣の他の国・県立病院、および地区病院を監督すること、医療関係者の訓練施設としても活用するもので、タイ政府は同病院の建設(医療資機材を含む)にわが国の無償資金協力を要請してきた。この要請に応じ昭和54年度は、事前調査の後、現地調査を実施し、基本設計報告書を作成した。	54	特	54. 8. 14~54. 8. 28	4	39,208	
			〃	特	54. 12. 2~54. 12. 22	8		
			〃	特	55. 2. 12~55. 2. 21	4		
40	ソククラ沿岸増養殖センター基本設計調査	タイ国政府は、同国における沿岸養殖開発の振興を図るためソククラに沿岸増養殖センターを設立し、必要な施設、機材供与、専門家派遣、研修員受入れを内容とする無償資金協力および技術協力を要請してきた。これに対しわが国は、同施設の果す役割と機能を把握し、その範囲と内容についてタイ側関係者と意見交換を行うとともに建設予定地の調査を行い、予算規模の概定と基本設計作成に必要な資料を収集した。	54	特	54. 9. 24~54. 10. 14	6	12,201	
41	北部地方道路網整備計画調査	地方開発と地方住民の所得増大を目的に、北部地方の道路交通サービスの向上を図るため、各種地域開発計画および開発ポテンシャルとの整合性のとれた道路網整備に係るM/Pを策定し、整備優先度の高い道路についてF/Sを行うもの。 昭和55年度は北部17県の道路網(国道・県道・主要地方道)の整備に関するマスター・プランを作成し、整備優先度の高い道路(16ルート、約410km)を選択した。 昭和56年度は昨年度に引続き、M/Pの取りまとめを行うと共に、選定された20路線について、F/Sのため本格現地調査を実施した。	55	実施調査	55. 6. 26~56. 3. 7	11	174,460	
				〃	実施調査	55. 8. 17~55. 8. 30		5
				〃	実施調査	56. 5. 24~56. 12. 21	10	207,604
				〃	実施調査	56. 8. 9~56. 12. 21	1	
				〃	実施調査	56. 9. 13~56. 12. 21	3	
				〃	実施調査	56. 11. 18~56. 11. 27	2	
			57	実施調査	(報告書作成)	0	416	
42	東部水資源開発計画調査	① フェーズI 計画されている2つのダムについて、工業、都市および農業用水の確保と	55	事前調査	55. 11. 30~55. 12. 13	7	5,203	
				〃	実施調査	56. 2. 16~56. 6. 15	11	45,198

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		洪水防御を目的とする水資源開発計画のF/Sを行うもので、56年度は昨年度実施した現地調査の結果について国内解析作業を行い、最終報告書の作成提出を行った。	56	実施調査	56. 5.28~56. 6. 4	3	66,347
			56	実施調査	56. 7.22~56. 7.31	7	
			56	実施調査	56. 4. 2~56. 6.15	5	49,931
			56	実施調査	56. 7.29~56. 8.27	3	
			56	実施調査	56.11. 4~56.12.20	13	
			57	実施調査	(報告書作成)	0	498
			56	事前調査	57. 2. 9~57. 2.23	7	4,409
57	実施調査	57. 7.26~57.12.22	18	142,020			
58	実施調査	58. 3.23~58. 3.30	5				
58	実施調査	58. 7. 7~58. 7.17	5		37,834		
43	チャオピア河架橋計画調査	バンコック首都圏を東西に二分するチャオピア河を渡河する橋梁のうち、首都圏内環状線道路の一部を形成し重要な位置づけを有する現ラマ5世橋について、拡張ないし新橋建設のためのF/Sを行うものであり、昭和56年度は、昭和55年度の事前調査の結果を受けて現地本格調査を行い、報告書取りまとめ作業を行った。	55	事前調査	56. 3. 4~56. 3.18	4	2,664
			56	事前調査	(報告書作成)	0	380
			56	実施調査	56. 6. 7~56.12. 6	22	120,684
			57	実施調査	(報告書作成)	0	296
44	バサック河流域かんがい農業開発計画調査	① バサック河流域かんがい農業開発計画調査 同国政府は流域面積約15,700km <sup>2</sup> 、全長315kmを有するバサック河流域のかんがい農業開発計画を策定し、これに係わるF/S調査の実施を日本政府に要請してきた。この要請に基づき昭和56年1月事前調査を実施した結果、同河川上流部丘陵地帯を走る数多くの支流に中小規模のダムを作りかんがいをすすめるとともに下流部のケンゴイ・バンモー地区では揚水によるかんがいを実施(受益面積約25,000ha)し、周辺地域の農業の生産向上を期待することが確認された。	55	事前調査	56. 1.27~56. 2.18	6	7,530
			56	実施調査	56. 4.20~56. 4.24	2	1,060
		② バサック河上流中規模かんがい計画調査 同国中部地域に存するバサック河は流域面積約15,700km <sup>2</sup> を有しているが、地形的に流量の変動が激しく洪水と水不足を繰り返している。昭和56年度はバサック河支流4カ所でのPre-F/Sを行い、選定されたサイトにダムを築造し、ダム下流の灌漑用水の確保と用水施設の整備を実施した。	56	実施調査	56. 8.31~56.10.29	3	44,116
			56	実施調査	56. 9.15~56.10.29	5	
			56	実施調査	56.10.20~56.10.29	1	
			57	実施調査	57. 1.28~57. 2. 3	5	
			57	実施調査	57. 6.10~57.10. 7	18	136,104

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
		③ ケンコイ・バンモーポンプかんがい計画調査 本計画は昭和56年1月に実施したパサック河流域灌漑農業開発計画が2つの計画に分かれたものの1つである。内容はパサック河下流のケンコイ・バンモー地区を揚水により灌漑しようとするものである。(受益面積約25,000ha)56年度は実施調査を行い、最終報告書を昭和57年1月末に完成した。	57	実施調査	58.1.23~58.1.29	5	96,370
			56	実施調査	56.7.1~56.8.31	7	
			〃	実施調査	56.7.15~56.8.31	7	
			〃	実施調査	56.8.26~56.9.3	4	
			〃	実施調査	56.10.25~56.11.4	7	
45	メイクワンかんがい農業開発計画調査	メイクワンかんがい農業開発事業は、昭和51年度からタイ政府の直営事業で実施されてきたが、近年に至りダムの貯水量推定とかんがい受益面積等の間に不整合が生じてきたため、同国政府は同事業に係わるかんがい農業開発計画の策定をわが国に要請してきた。この要請に基づき、わが国は北部タイのチェンマイ市近郊のメイクワン川流域約25,600haのかんがい農業開発計画に関する事前調査を昭和55年12月に実施し、引き続き翌56年2月にF/S調査団を派遣、本格調査を実施した。 昭和56年度は、第二次実施調査を行い、昭和57年2月に最終報告書を完成した。	55	事前調査	55.12.3~55.12.20	7	5,536
			〃	実施調査	56.2.15~56.3.31	14	26,499
			56	実施調査	(報告書作成費)		390
			〃	実施調査	(資機材購送費他)		41,123
			〃	実施調査	56.6.1~56.8.19	21	119,408
			〃	実施調査	56.12.10~56.12.17	5	
57	実施調査	(報告書作成)	0	485			
46	小規模ダム建設計画基本設計調査	カオイ団難民キャンプと周辺住民に生活用水、かんがい用水を供給するため、小規模ダム建設に必要な基本設計を策定するものである。昭和55年度は水文資料収集、解析、地質調査、生活用水量等の調査を実施した。	55	特	55.9.11~55.10.15	8	39,231
47	マハサラカム看護学校建設計画基本設計調査	地方住民の保健医療サービスの充実と強化のためマハサラカム看護婦学校建設計画の基本設計調査を実施した。	55	特	55.10.27~55.11.16	7	35,147
48	バンセン海洋科学センター建設計画基本設計調査	シーナカリンウィナート大学の海洋科学センターをバンセン市の同大学内に建設するため基本設計の調査を実施し同設計書を作成した。	55	特	55.12.15~55.12.26	4	19,542
			〃	特	56.2.4~56.2.13	6	
49	経済技術協力調査	タイに対するわが国の経済技術協力を効率的に実施するため、わが国の経済技術協力実績のレビュー、協力実施上の問題点についての意見交換を行った。	55	事前調査	55.5.13~55.5.20	7	1,782
50	ラオス難民生活用水供期計画調査	生活用水の困窮度の高いナコンパノム、パクチョムキャンプについて、その確保を図るため地下水開発調査を実施し計画を策定するもので、昭和56年度はナコンパノムキャンプでの現地本格調査を開始した。	56	実施調査	57.2.4~57.3.16	7	11,293
			57	実施調査	57.5.20~57.10.16	6	89,172

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
51	ラマ6世橋修復計画調査	バンコック首都圏とタイ南部を結ぶ重要なルートであるラマ6世橋は異常振動が発生し、危険な状態にあり、早急な対策が必要となっている。このため、この修復工事に必要な下部工の精査、補強設計、補強施工法およびコスト積算等を行い、資料の作成を行うものである。昭和56年度は事前調査を行い、S/W協議を行ったのに引き続き、現地本格調査を行い、下部工の精密測定を実施した。	56	実施調査	57.1.26~57.2.4	4	37,530
			〃	実施調査	57.1.31~57.3.30	5	
			〃	実施調査	57.3.1~57.3.30	6	
			〃	実施調査	57.3.21~57.3.30	4	
			〃	実施調査	57.7.11~57.7.17	6	50,030
			〃	実施調査	57.10.17~57.10.26	4	
52	東北部道路網整備計画調査	タイ東部の開発は経済・社会両面の重要かつ、緊急な課題となっており、同国政府は同地域の道路整備を図ることにより、同地域の開発促進を目指している。本調査は既存道路の改修を含めた整備計画のM/Pを作成し、整備優先度の高いものについてはF/Sを実施するものであり、昭和56年度は事前調査を行い、一部現地調査のための国内準備作業を行った。	56	事前調査	56.11.18~56.11.29	5	2,722
			〃	実施調査	57.3.29~57.12.23	7	13,445
			〃	実施調査	57.5.10~57.5.19	2	208,388
			〃	実施調査	57.5.28~57.12.23	15	
			〃	実施調査	58.2.3~58.2.15	5	
53	東部海岸パイプライン建設実施設計調査	東部水資源開発計画のF/Sのうち、ドッグライダムからマブタブットまでの都市および工業用水パイプライン建設について、F/S結果に基づき、詳細設計図書および入札書類を作成するもので、57年8月最終報告書の取りまとめを日途に、現地本格調査を開始した。	56	事前調査	56.9.16~56.9.25	4	1,994
			〃	実施調査	56.11.18~57.5.1	20	86,765
			〃	実施調査	56.12.10~56.12.20	2	
			〃	実施調査	57.2.22~57.2.28	3	
			〃	実施調査	57.4.6~57.4.16	3	
			57	実施調査	57.7.1~57.7.30	12	124,835
54	東部臨海工業地帯開発計画調査	東部臨海工業開発の一環としての工業港の適地選定、背後の土地利用計画等について検討するものであるが東部臨海工業地帯開発計画は広範な開発計画であり、内容も多岐にわたっているため、昭和56年度は事前調査として、既存資料のレビュー、工業港立地適性の検討、臨海部整備の方向づけを行った。	56	事前調査	57.1.11~57.1.31	8	13,257
			〃	事前調査	57.3.15~57.3.20	3	
			57	事前調査	58.1.25~58.2.5	4	2,540
55	バンコック高速道路建設計画調査	バンコック市内交通は道路交通にほとんどを依存しており、交通混雑は極めて著しい。このため同国政府は都市交通政策の一環として、第1期、第2期からなる高速道路建設計画を進めていたが、計画策定以後の都市化の進展、関連プロジェクトの進捗、第1期計画の完了が間近になったこと等により、計画の抜本的見直しが必要となってきた。これを受けて第2期高速道路建設計画の現行案の抜本的見直しを中心として、全体計画策定をベースとしたマスタープランレベルの調査を行い、並行的に Lat Yao-Bang Khlo、および Phaya Thai	56	事前調査	57.2.24~57.3.9	5	2,963
			〃	実施調査	57.6.6~57.12.15	19	126,213
			〃	実施調査	58.1.24~58.4.30	9	
			〃	実施調査	58.4.16~58.5.30	4	131,063
			〃	実施調査	58.5.1~58.8.20	8	



№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
		-Hus Makの2路線についてD/Sを実施した。					
56	東北タイ農業協力調査	後発地域とされる東北タイの農業開発の方針を検討するため、昭和55年9月、昭和56年5月および10月に調査団を派遣し、関係機関と協議したが、その結果をふまえ、昭和57年4月に調査団を派遣し、日・タイ間の同地域農業協力の具体的あり方としては、①農業基盤整備、②生産拡大と多様化、③普及活動の三大方針による協力のフレーム・ワークをとりきめた。	56	事前調査	56.5.27~56.6.6	6	5,777
			〃	事前調査	56.11.16~56.11.25	5	
			57	事前調査	57.4.20~57.4.28	9	4,722
57	貿易研修センター建設 計画調査	貿易実施に関する人材育成、輸出品の規格・品質管理技術の向上および輸出の促進を目的とする貿易研修センターの建設に係る基本設計調査を実施した。	56	特	57.1.6~57.1.14	7	20,353
			〃	特	57.2.8~57.2.21	5	
			57	特	(報告書作成)		20
58	内水面漁業センター建設 計画調査	南部タイにおいて淡水漁業振興の中心となる研究・普及・稚魚生産および訓練を行う内水面漁業センターの建設に係る基本設計調査を実施した。	56	特	57.1.6~57.1.14	7	20,353
			〃	特	57.2.8~57.2.21	5	
			〃	特	57.2.9~57.2.18	2	1,178
			57	特	57.4.10~57.4.30	7	21,939
59	プライマリーヘルスケア 訓練センター建設 計画調査	農村住民への保護サービス向上を目的とするプライマリーヘルスケア要員訓練のためのセンター建設に係る基本設計調査を実施した。	56	特	57.3.16~57.3.25	2	1,845
			57	特	57.5.23~57.6.19	7	26,174
			〃	特	57.9.26~57.10.2	3	
60	スコタイ・タマチラー ト放送大学番組制作セ ンター建設計画調査	国民に広く高等教育の機会を与え、知識・技術の向上を図るための放送教育の充実を目的とする番組制作センターの建設に係る基本設計調査を実施した。	56	特	57.1.24~57.2.13	7	7,068
			57	特	57.5.23~57.5.29	5	22,805
61	中央造林研究訓練セン ター建設計画調査	造林技術の普及および研究を目的とする中央造林研究訓練センターの建設に係る基本設計調査を実施した。	56	特	56.7.19~56.7.28	1	30,151
			〃	特	56.10.27~56.11.14	7	
			〃	特	56.12.20~56.12.26	4	
62	被災民用職業訓練セン ター建設計画調査	カンボジア難民流入により影響を受けた国境周辺タイ住民に対し職業訓練を実施するためセンター建設に係る基本設計調査を実施した	56	特	56.11.1~56.11.15	4	14,314
63	貧困撲滅計画システム	貧困撲滅計画を実施するために必要なコンピューターの導入、システム設計に係る基本設計調査を実施した。	57	事前調査	57.5.11~57.5.18	4	1,869
			〃	特	57.8.30~57.10.8	7	23,019
			〃	特	57.12.5~57.12.11	5	
64	東北タイ農業開発研究	日米両国が協力して行う共同プロジェクトとして東北タイの自然条件、社会、	57	形成基礎	57.7.14~57.7.20	5	1,886

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
	計画	経済状況に適した農業技術開発を目的とする試験・研究センターを設置し、専門家派遣によりプロジェクト方式技術協力を実施することが計画された。そのためのプロジェクト・フォーメーションを行うものである。昭和57年度にはコンタクト調査およびS/Wの締結ならびに実施調査(現地調査)を行い、最終報告書(案)を作成した。 58年度は最終報告書を作成し、タイ政府に提出した。	57	形成基礎	57. 9. 9~57. 9.18	5	13,835
			〃	形成基礎	57.11.15~57.12.19	4	
			〃	形成基礎	58. 3. 7~58. 3.12	5	
			58	形成基礎	(国内作業)	0	5,051
65	社会教育文化センター 設立計画	バンコック市に一般市民が利用できる社会教育文化センターを建設することに係る基本設計調査を実施した。	57	特	57. 9.12~57. 9.19	4	7,363
			〃	特	58. 1.25~58. 1.29	5	
			58	特	58. 9.25~58.10.14	12	49,523
			〃	特	58.11.30~58.12. 9	7	
			〃	特	59. 2. 5~59. 2.11	5	
66	かんがい技術センター 設立計画	灌漑技術の調査、研究、普及活動を組織的に実施するための施設建設に係る基本設計調査を実施した。	57	特	57.11.30~57.12. 9	3	13,507
			〃	特	58. 2.18~58. 3.12	10	
			58	特	58. 4.20~58. 4.29	5	16,331
67	国境周辺住民生活環境 整備計画	ラオス国境周辺住民に対する生活用水および灌漑用水供給のための施設建設に係る基本設計調査を実施した。	57	特	57.11.24~58. 1.22	9	43,360
			58	特			22
68	労災リハビリセンター 設立計画	労災被災者のための機能回復訓練施設の建設および機材の供与にかかわる基本設計調査を実施した。	57	特	57.11.15~57.11.27	5	2,978
			58	特	58. 5.23~58. 6.15	8	
			〃	特	58. 8.16~58. 8.25	4	21,260
69	東部工業港開発計画	タイ国東部のマプタブッド地区に構想されている工業港および背後臨海部開発に関するマスタープランの策定ならびに短期計画にかかわるフィージビリティ調査を実施した。	57	事前調査	57. 5.12~57. 5.22	5	283,067
			〃	実施調査	57. 7.22~58. 2.11	29	
			〃	実施調査	58. 3.27~58. 6.15	9	
			58	実施調査	58. 4.17~58. 6.15	10	113,145
			〃	実施調査	58. 9.12~58. 9.21	7	
70	船舶修理ヤード建設 計画	東部臨海地区ラムチャバンに2万DWT級の船舶を収容しうる船舶修理所を建設するためのF/Sを実施した。	57	事前調査	57.10.25~57.11. 6	4	2,615
			59	実施調査	59. 8. 8~59. 9.21	10	134,249
			〃	実施調査	59.10.29~59.11. 7	8	
			〃	実施調査	60. 3.11~60. 3.17	6	

タ イ	No	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
				60	実施調査	(国内作業)	0	9,977
	71	バンコク市都市排水対策計画	バンコク市東部郊外地域約500 km <sup>2</sup> についての都市排水対策計画に対する予備調査を行い優先度の高い地域についてM/Pの策定とF/Sを行うものである。 昭和58年度はM/Pを策定し、昭和60年度はM/Pで提案された総合治水対策(洪水防御・排水対策計画)における第1期事業について、その妥当性(F/S)を調査しファイナルレポートを作成し、提出した。	57	事前調査	57.11.10~57.11.24	6	4,590
				58	実施調査	58.5.16~58.8.28	21	166,658
				〃	実施調査	58.9.15~58.11.25	7	
				〃	実施調査	59.2.16~59.2.25	5	
				59	実施調査	59.5.21~59.8.3	17	165,986
				〃	実施調査	59.9.18~59.11.21	7	
				〃	実施調査	60.2.3~60.2.15	7	
				60	実施調査	60.6.10~60.11.30	20	151,445
				〃	実施調査	61.1.12~61.1.21	7	
	72	メクロン地区末端かんがい計画	水管理の試験、トレーニングを行うためのモデル的末端灌漑施設の建設に係る基本設計調査を実施した。	57	特	57.6.20~57.8.3	7	8,193
				〃	特	57.11.14~57.11.25	2	
	73	南タイ北部地域総合開発計画	スラタニ、プケットを結ぶ地帯を中心とする南タイ北部地域の総合開発計画につき、西暦2000年を想定したM/Pの策定及び優先プロジェクトのプレF/Sを行うもので、昭和58年度に策定されたM/Pに基づき優先度の高いプロジェクトのプレF/Sを実施し、その結果と合わせファイナル・レポートにまとめ、同レポートをタイ政府に提出した。	57	実施調査	57.4.25~57.5.1	3	5,557
				〃	実施調査	57.11.8~57.11.21	5	
				〃	実施調査	58.4.10~58.4.15	1	
				58	実施調査	58.4.29~58.7.16	5	226,271
				〃	実施調査	58.5.10~59.3.31	30	200,158
				59	実施調査	59.4.1~59.8.31	23	
				〃	実施調査	59.12.10~59.12.19	2	
				〃	実施調査	60.1.13~60.1.30	12	
	74	総合評価調査		57	評価調査	57.7.14~57.7.18	3	1,058
	75	経済技術協力調査	アジア一般参照のこと。	57	事前調査	57.7.11~57.7.14	5	1,300
	76	日米共同研究プロジェクト	タイ国東北部コンケン農業振興のための研究所および施設を建設し、日・米が共同してその実施に当るべくコンタクトミッションをタイ国に派遣し、タイ国および米国関係機関と協議した。	57	形成基礎	57.7.14~57.7.20	5	1,886
	77	沿岸海運整備振興計画	タイ政府の要請に基づいて、同国の沿岸海運整備振興計画にかかわるF/Sを実施するものである。本調査では、タイの南北間の輸送体系が現在、道路、鉄道を主に利用しているが、海上輸送に転換できる貨物について検討し、その	57	事前調査	57.11.21~57.12.4	5	5,503
				〃	実施調査	58.2.13~58.2.19	4	
				58	実施調査	58.8.1~58.10.14	16	

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
		可能性を探って、最終報告書を取りまとめた。	58	実施調査	59. 2.13~59. 3. 3	10	78,837
			59	実施調査	59. 8.13~59. 8.29	8	
78	バンコック首都圏国鉄高架化計画	バンコック首都圏における国鉄の輸送力増強並びに近代化を検討しつつ、当面の道路混雑解消のため約10kmの鉄道高架計画についてのF/Sを実施した。	57	事前調査	57.11. 7~57.11.14	4	2,073
			58	実施調査	58. 6. 8~58. 6.17	5	55,624
			〃	実施調査	58. 8.22~58.11. 6	17	
			〃	実施調査	59. 1.26~59. 2. 3	6	
			59	実施調査	59. 4.19~59. 4.26	4	87,158
79	道路交通安全計画	タイ国の国道、主要地方道における道路交通安全施設計画策定のための諸手法および技術基準(案)の提案を行うものである。58年度は、本格調査を実施し、調査対象路線の事故分析および試験施工を実施するとともに、バンコック市内ビクトリーモニュメント・ロータリー交差点における歩行者安全対策(案)を提案した。 59年度は、58年度の調査結果をもとに交通安全対策(案)を作成し、経済評価を行い最終報告書をタイ国政府へ提出した。	57	事前調査	57.12. 5~57.12.15	4	4,114
			〃	事前調査	58. 2. 3~58. 2.15	4	
			58	実施調査	58. 5.23~58.12.21	29	181,715
			〃	実施調査	59. 1.16~59. 3.21	6	
			59	実施調査	59. 5.10~59.11.23	26	147,109
			〃	実施調査	59.12.20~59.12.27	2	
80	メチャンかんがい農業開発計画	バンコックの北方約650kmのムアンランパン地方の農地約16,000haを対象に、ダムの新設および幹支線用水路施設の改良・整備を行い、水資源の有効利用を図ることにより、地域農業の振興を図ることを目的とする灌漑農業開発計画を策定した。	57	事前調査	57.10.20~57.11. 6	6	70,570
			〃	実施調査	58. 1.30~58. 3.27	15	
			58	実施調査	58. 6. 5~58. 8.10	15	115,536
			〃	実施調査	58.11.15~58.11.22	5	
81	東北タイ南部中規模かんがいパッケージプロジェクト	東北タイ、メコン川に流入するムーン川の二つの支流域にある約26,000haの地区の中規模灌漑プロジェクト群(13カ所)を対象に灌漑用水の供給を主とする農業開発計画を策定するとともに、この種の中規模灌漑プロジェクトの選択および調査計画手法の指針を作成した。	57	事前調査	57.11.16~57.12. 3	7	53,661
			〃	実施調査	58. 2. 6~58. 3.31	11	
			〃	実施調査	58. 5.29~58. 8.26	7	174,104
			〃	実施調査	58. 9. 4~58.12.17	14	
			59	実施調査	59. 5.14~59. 5.22	5	12,701
82	ラムチャバン臨海部開発計画	タイ国東部臨海部ラムチャバン地域に構想されている港湾、工業団地、都市、用水施設等を含む複合体の基盤施設に関するM/Pの策定と、短期計画にかかわるF/Sを実施した。	58	事前調査	58. 8.29~58. 9. 7	5	76,550
			〃	実施調査	59. 1.18~59. 3.24	20	
			59	実施調査	59. 7.16~59. 8.31	17	178,763
			〃	実施調査	59.11. 5~59.11.13	11	
			〃	実施調査	60. 3.20~60. 3.25	4	

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
83	東線・東北線連絡鉄道幹線計画	8月に事前調査団(コンタクト・ミッション)を派遣したが、その後タイ政府より調査要請を取り下げる旨連絡があった。	58	事前調査	58.8.29~58.9.7	2	1,051
84	東北部道路網整備計画	タイ国東北地方16県における道路網整備計画調査(M/P調査)に基づき、同調査で勧告された整備優先度の高い路線についてF/Sを実施するものである。調査は、新設・改修区間として約510km、リハビリテーション区間として約90kmについて実施しドラフト・ファイナルレポートとしてとりまとめた。	58	事前調査	59.3.20~59.3.29	4	2,858
			59	実施調査	59.7.8~60.3.14	27	177,357
			60	実施調査	(国内作業)		15,437
85	ノンコー・ラムチャパン間送水パイプライン建設計画	タイ国東部海岸のノンコーダムからラムチャパン工業地域に至る工業および家庭用水送水のためのパイプライン建設計画についてF/Sを実施した。	58	実施調査	58.8.24~58.11.30	13	75,218
			59	実施調査	59.1.3~59.3.7	5	
86	穀物貯蔵施設拡充計画	農民の基本的ニーズを満たし、生産意欲を増大させるために、農産物が適正な価格で売買できるよう農産物流通システムの整備・強化の一環としての穀物貯蔵施設整備拡充計画につきF/Sの実施を目的とし、昭和58年度実施した調査結果を同計画Phase Iの最終報告書として取りまとめ昭和59年に送付した。 また、同年10月からPhase IIの計画を策定するための調査を引き続き実施し、60年にタイ政府のコメントを踏えた最終報告書を取りまとめ送付した。	58	事前調査	58.12.14~58.12.24	4	31,095
			59	実施調査	59.2.15~59.3.31	9	
			59	実施調査	59.8.21~59.8.31	5	88,990
			59	実施調査	59.10.10~59.12.9	11	
			60	実施調査	60.3.18~60.3.23	4	
87	東北タイ農業開発研究センター建設計画	全人口の1/3を有するタイ国東北部の農業開発研究の施設の建設にかかわる基本設計調査を実施した。	58	特	58.6.8~58.6.16	2	24,087
			58	特	58.8.7~58.8.27	7	
			58	特	58.11.9~58.11.15	4	
88	タマサート大学日本研究センター設立計画	タイ国およびアセアン諸国における日本研究の機会の拡充と研究者の養成を目的とする施設の建設にかかわる基本設計調査を実施した。	58	特	58.7.10~58.7.30	6	21,574
			58	特	58.10.2~58.10.10	4	
89	モンクット王工科大学講義棟建設計画	手狭になったモンクット王工科大学の講義棟建設にかかわる基本設計調査を実施した。	58	特	58.8.7~58.8.27	6	31,878
			58	特	58.10.23~58.11.1	4	
90	公衆衛生研究所設立計画	公衆衛生分野の専門研究施設の建設にかかわる基本設計調査を実施した。	58	特	58.11.15~58.12.7	8	35,079
			59	特	59.2.27~59.3.7	6	
91	ラヨン海洋養殖センター建設計画	増養殖技術、小規模漁業技術の研究および漁民に対する資源保護、漁業技術の訓練・普及を行う施設の建設にかかわる基本設計調査を実施した。	58	特	58.12.11~58.12.21	3	14,335
			59	特	59.3.11~59.3.31	7	
			59	特	(国内作業)	0	17,355

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
92	経済技術協力調査	世界一般参照のこと。	58	事前調査	58. 7. 2~58. 7. 5	(7)	(1,279)
93	アセアン諸国経済技術 協力調査	アジア一般参照のこと	58	事前調査	58.10.30~58.11.12	(2)	(428)
94	総合評価調査	タイ国における経済技術協力案件のうち協力期間が終了した案件5件に関し、 事業計画の達成度、経済的・社会的効果、計画の妥当性、およびフォローアップ の必要性等について評価調査を実施した。 ・コラート養蚕開発 ・コンケン職業訓練センター ・カセサート大学 ・小規模灌漑計画 ・新農村開発計画	58	評価調査	59. 1.29~59. 2.24	4	2,459
95	東北タイ地方水道施設 緊急整備計画	タイ東北部の地方水道施設の整備・改良のためのF/Sを行った。	59	事前調査	59. 7.18~59. 7.28	4	58,922
			〃	実施調査	59.10.28~60. 1.13	10	
			〃	実施調査	60. 3.21~60. 3.28	4	
			60	実施調査	60. 6.10~60. 9. 7	11	78,120
			〃	実施調査	60.12. 9~60.12.18	5	
96	港湾浚渫船隊整備計画	南部タイ地域の港湾開発に対応する浚渫船隊の整備計画及びその修繕施設の 建設計画についてのF/Sを実施した。	59	事前調査	60. 1.28~60. 2. 8	5	120,983
			60	実施調査	60. 6. 3~60.10.16	15	
			〃	実施調査	60.12.17~60.12.26	7	
			〃	実施調査	61. 3. 9~61. 3.18	5	
97	首都圏道路改良交通安 全計画	バンコック首都圏において多発する交通事故、交通渋滞といった交通諸問題 に対応するため、都市内道路交通計画、交通安全対策を立案するものである。	59	事前調査	60. 2.21~60. 3. 2	5	2,218
			60	実施調査	60. 6.17~61. 3.30	35	227,860
98	サカエクラン川流域か んがい計画	中部チャオピヤ平原の北西部に位置するサカエクラン川流域約63万haにお いて、ダムによる用水開発を中心としたかんがい農業開発の適地を選定し、そ の地区におけるかんがい計画のF/Sを実施するもので、昭和59年度に実施 したプレF/Sにより選定された最優先プロジェクトについて、昭和60年度 は、かんがい計画のF/Sを実施した。	59	事前調査	59. 6.25~59. 7. 7	5	102,030
			〃	実施調査	59.10. 1~59.12.30	13	
			〃	実施調査	60. 3.14~60. 3.20	5	
			60	実施調査	60. 7. 1~60. 9.30	20	156,014
			〃	実施調査	60. 1. 7~61. 1.15	6	
99	バンナラ川流域かんが	タイ南部に位置するバンナラ川流域における塩水遡上問題を解決し、かんが	59	事前調査	60. 3.10~60. 3.23	5	3,849

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
	い排水計画	いのための水資源開発を行い、もって、農地造成による新規入植地の整備を含む約4万haの農業開発を行うもので、昭和59年度に締結したS/WIに基づき、昭和60年度は、水文、気象及び農地水資源調査を行い、既存のかんがい排水計画の見直しを行うとともに、かんがい排水開発可能地区を選定し、当該地区におけるプレF/S及びF/S現地調査を実施した。	60	実施調査	60.6.1~60.9.30	16	229,069
			60	実施調査	60.12.1~61.3.20	13	
100	中央家畜衛生研究所建設計画	家畜振興のため家畜衛生情報網の整備確立、診断技術の改善、開発に伴う研究、技術者の育成、訓練を行うセンターの建設にかかる基本設計調査を実施した。	59	特	59.7.15~59.7.27	4	32,665
			60	特	59.9.19~59.10.9	7	
101	農業協同組合訓練センター建設計画	農協幹部専門職員等の研修を行うための中央農協訓練センター、地域訓練センターの建設にかかる基本設計調査を実施した。	59	特	59.9.2~59.9.18	5	22,286
			60	特	59.12.11~59.12.18	4	
102	水道技術訓練センター設立計画	水道技術者を養成するため中央訓練所及び地方訓練所4ヶ所の建設及び資機材の整備にかかる基本設計調査を実施した。	59	特	60.1.8~60.1.28	7	11,899
			60	特	60.4.7~60.4.13	3	
			60	特	(国内作業)	0	
103	エンジニアリング産業開発研究所	鉱業資源を利用した工業の振興をはかるためのエンジニアリング産業開発研究所の建設及び資機材の整備にかかる基本設計調査を実施した。	59	特	60.1.14~60.2.2	9	21,021
			60	特	60.7.3~60.7.9	4	
			60	特	60.7.30~60.8.7	2	
104	経済技術協力調査	年次協議(フィリピン、タイ)	59	形成基礎	59.8.25~59.9.2	(8)	(1,702)
105	経済技術協力評価調査	ジャーナリスト等第三者の参加を得て、タイに於ける経済技術協力案件5件について評価調査を行うとともに青年海外協力隊、派遣専門家との意見交換を行うことにより、広くタイ圏に対するわが国の経済技術協力に関する有識者からの提言をとりまとめた。 ・モンクット王工科大学 ・家畜衛生センター ・中央造林研究訓練センター ・バンセン海洋科学センター ・ベチャブナーチャイバダン道路建設	59	評価調査	60.1.27~60.2.9	5	6,083
106	チャオピア川洪水予報システム計画	チャオピア川全流域約16万2,000km <sup>2</sup> を対象とした洪水予報システム計画にかかる調査を行う。	60	事前調査	61.3.20~61.3.30	5	3,828

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
		昭和60年度事前調査(コンタクト)を実施した。					
107	地方都市水道整備計画	チェンマイ市、ウボン市、ヌパング市、パタヤ市について水道整備のためのM/P策定、及び優先度の高い短期計画について、F/Sを実施するもので、昭和60年度は2010年を目標年次とした長期基本計画を策定するとともに、優先度の高い短期計画(1995年目標)についてF/Sを実施した。	60	事前調査	60.7.29~60.8.14	5	66,497
				実施調査	60.12.2~61.3.21	15	
108	鉄道ヤード改良計画	タイ国鉄のヤード(10カ所)の基本改良計画を策定し、優先度の高いプロジェクトにつき短期計画を作り、F/Sを実施するものであり、昭和60年度は事前調査に基づき、現地本格調査を実施した。	60	事前調査	60.8.20~60.9.1	6	86,888
				実施調査	60.12.19~61.2.28	18	
109	新クルンテップ橋及びトンプリ道路延伸計画	チャオ・プラヤ河に架かるクルンテップ橋の拡幅または新設、及びトンプリ市を東西に横断する道路建設のF/Sを実施するものであり、昭和60年度は事前調査に基づき、現地本格調査を実施した。	60	事前調査	60.10.29~60.11.7	5	21,255
				実施調査	61.3.5~61.6.2	8	
110	効果的港湾システム調査	タイにおける深水港(ラムチャバン港他5港)を対象に基本的な港湾政策の策定及び港湾の効率的運営のための行政組織、監理運営制度等に関し提言を行うものであり、昭和60年度は事前調査を実施した。	60	事前調査	60.11.11~60.11.22	5	5,295
				事前調査	61.2.3~61.2.8	3	
111	バンコック首都圏地形図作成作業	バンコック首都圏を対象に都市基本図を作成するものであり、コンタクトミッション及び事前調査団を派遣し、現地踏査を行うとともに、タイ政府関係機関と協議、S/Wを締結した。	60	事前調査	61.1.27~61.3.20	11	13,138
112	チャオピア川流域水管理システム強化計画	タイの最大水系であるチャオピア川全流域を対象に、現行の水管理システムの問題点と現況調査、水系データ監視計画の策定、データ管理処理手法の策定及びデータ伝達計画の策定を行うもので、昭和60年度は、事前調査を実施し、関係機関との協議、現地調査、既存資料の収集、必要資料の有無の確認及び本格調査実施の可能性を調査した。	60	事前調査	61.3.20~61.3.30	6	3,692
113	国有林管理計画	タイの国有林管理に役立てるため、国有林の一部である200haの航空写真(縮尺1/20000)の撮影及びモデル地域2万haにおける地図類の作成、土地利用計画、アグロフォレストリー開発と環境保全のための森林管理計画を策定するもので、昭和60年度は、調査を実施するためのS/W協議を行い、本計画策定に必要な基礎調査を実施した。	59	事前調査	60.3.17~60.3.28	6	71,133
			60	事前調査	60.7.22~60.7.31	5	
				実施調査	60.11.26~61.3.25	22	
114	経済技術協力調査	年次協議(シンガポール、タイ)	60	形成基礎	60.5.9~60.5.16	(6)	(1,476)



№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
115	経済技術協力評価調査	(インドネシア, タイ, ビルマ) アジア一般参照のこと。	60	評 価	60. 8.22~60. 9.11	(2)	(2,060)
116	東北タイ開発プロジェクト合同評価調査	東北タイにおけるわが国の援助について, その効果, 問題点等を把握するためにタイ側と合同で評価調査を実施するにあたり, 対象案件, 評価方法等につき協議を行った。	60	評 価	61. 3. 2~61. 3.12	4	1,841
117	経済技術協力評価調査	実務者評価	60	評 価	60.12.15~60.12.21	1	539

海外開発計画調査事業

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	木材利用工業開発計画調査	(パキスタン, タイ) アジア一般を参照のこと。	38	海	38.12.15~39. 2. 9	(5)	(2,893)
2	東南アジア6カ国鉄鋼業開発拡充計画調査	(インドネシア, マレーシア, フィリピン, シンガポール, タイ, 台湾) アジア一般を参照のこと。	43	海	43. 6.19~43. 7.11	(8)	(2,014)
			43	海	43. 7.22~43. 8.14	(8)	
3	東南アジア鉱工業プロジェクト選定確認調査	① (マレーシア, フィリピン, タイ) アジア一般を参照のこと。	41	海	41. 7.19~41. 8.12	(4)	(1,196)
		② (インドネシア, マレーシア, フィリピン, シンガポール, タイ) アジア一般を参照のこと。	47	海	47. 5.31~47. 6.20	(2)	(238)
		③ (インドネシア, マレーシア, ネパール, タイ) アジア一般を参照のこと。	48	海	48. 5.27~48. 6.15	(2)	(600)
		④ (インドネシア, マレーシア, ネパール, タイ) アジア一般を参照のこと。	50	海	51. 2.22~51. 3.15	(2)	(488)
4	鉱物資源開発計画調査	タイ北西部地域において銅, スズ, 鉄, アンチモニ, マンガン等の鉱床を調査しその開発の可能性の検討。	37	海	37.11.24~38. 2.21	9	7,977
			38	海		0	513
5	ナムサイヤイ電源開発計画調査	バンコクの東方約150kmの地点にあるナムサイヤイ流域を踏査して, 電源開発計画の開発方針の検討とフィジビリティ調査。	39	海	40. 2.11~40. 3.27	6	4,217
			40	海		0	792
			42	海	42.10.16~43. 3.13	8	6,303
			43	海	43.10.20~43.11. 3	1	9,742

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
6	ナムボン上流域開発計画調査	電力需要の増大に備えるためNam Phram, Nam Cheruの2水力発電計画に関する予備調査。	41	海	41. 6.15~41. 7.16	2	8,932
			41	海	41.11.26~42. 3. 8	7	
			42	海		0	8,857
7	工業団地開発計画基礎調査	第2次経済開発計画による工業団地造成のためバンコクとその周辺、東北及び北タイの開発地域についての基礎調査。	44	海	44.11. 5~44.12. 4	9	9,203
8	クロンタダン及びナムバイ水力開発計画調査	バンコク北方のクロンタダン・サイト及びナムバイサイトにおけるダム建設計画に関し、前者についてはプレ・フィジビリティ調査、後者については踏査の実施。	45	海	46. 2. 3~46. 3.19	5	4,972
			46	海		0	13,101
9	クワイヤイ及びラグー川水力発電開発計画調査	クワイヤイ上流地域についての概括的踏査およびラグー地区を中心とするフィジビリティ調査。 昭和47年度は、クワイヤイ上流地域における水力発電開発計画策定のための基礎調査および資料収集とラグー地域における同計画策定のための水文、地形、地質等の現地調査と資料収集を実施した。昭和48年度はその調査結果をとりまとめ、クワイヤイ上流計画についてはレコネッサン報告書をラグー計画については、プレ・フィジビリティ報告書を作成した。	47	海	48. 2. 6~48. 3.29	7	11,694
			48	海		0	15,643
10	クワイヤイ河調整池計画調査	クワイヤイ河に建設する逆調整池と揚水発電用貯水池等を兼ねる調整池プロジェクトのフィジビリティ調査を実施した。	50	海	50.11.12~50.12.26	6	45,723
			51	海	51. 9.12~51. 9.18	1	15,914
11	クワイヤイ河上流水力発電開発計画調査	同国発電公社(Electric Generating Authority of Thailand)は、年率12%で急増している電力需要に対処するため、新規地点の電源開発に取り組んでおり、また自国資源の有効利用という観点から水力、石炭火力の開発を推進している。このためメクロン河水系クワイヤイ河一貫開発計画の一つとして、最大出力560 MWの電源開発を行う計画を策定し、わが国に要請してきたので、フィジビリティ・スタディを実施した。	53	海	54. 3. 6~54. 3.29	5	8,829
			54	海(報告)	54. 7. 2~54. 7.31	10	105,225
			54	海(報告)	55. 3.20~55. 3.29	1	
			55	海	(国内作業、報告書作成)	0	6,290
14	バンコック首都圏都市ガス供給計画調査	バンコック首都圏の都市燃料の安定供給を図るため、現在の都市燃料(LPG, 木炭)を都市ガスへ転換するために、将来における都市ガス需要予測を行うとともに、供給計画を策定のうえ技術的経済的検討を加え、本計画に関するフィジビリティ調査を実施した。	49	海	49. 9.20~49.12.24	15	54,307
			50	海	50.10.26~50.11. 1	1	6,331
15	家具産業振興計画調査	タイ国内の木製家具産業の振興を図るため、同国の木製家具産業の背景と現	49	海	50. 3.11~50. 3.30	8	9,909

タ イ	№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
			状を把握し、そのデザイン、製造技術などの改善を図り、輸出商品として耐えうるような製品の生産を目的として現地調査を実施した。	50	海		0	828
14	東北部工業開発計画調査	タイ国は、商工業がすべてバンコック首都圏を中心に発達しており、人口の過密化から各種の弊害を生じると共に、一方首都圏以外の地域では生活産業水準の地域間隔差の拡大、及び過疎化が社会問題となってきた。特に従来より開発の遅れていた東北部はベトナム戦争終結後の米軍の引上げにより基地従業者の失業、共産ゲリラの出没等社会不安要因が顕在化している。このような状況を改善するため、同国政府は、工業団地を中心とした東北部の工業開発計画推進のため、わが国に協力の要請をしてきた。このため同国の全体的な経済開発計画における当該計画の位置づけを行い、同国のニーズを確実に把握すると共に東北部の工業潜在力を調査し、今後の技術協力の方向を定めるべく事前調査を実施した。	52	海(事前)	52.10.23~52.11.5	4	4,674	
15	Mae Moh肥料工場修復計画調査	CFC社メーモー工場は、バンコック北方約600 kmに位置し、タイ国唯一の化学プラントであり、また唯一の単肥製造工場であり、唯一の高温高压使用工場である。操業は1965年開始したが、まだ開放点検等の基本的な修理がされてなく、最近ひんぱんに事故が発生し、年間生産量は設計能力の30%に低下している。51年迄民間ベースで修理点検を行ってきたが、52年本格的な開放点検を行うことになり、わが国に協力の要請があったので、開放点検に先立ち事前調査を実施した。  53年度は、52年度に引き続き開放点検を実施した。	52	海(事前)	53.2.19~53.3.19	8	47,715	
			53	海	53.6.25~53.9.24	8		
			54	海	54.2.18~54.2.27	1		
16	一貫製鉄所建設計画調査	1985年には、その輸入量が100万tに達すると見込まれる鋼板の国内需要を満たすことを目的として、タイ湾より産出する天然ガスを利用した直接還元法による一貫製鉄所建設のフィージビリティ・スタディをわが国に要請してきた。このため本要請のタイ政府の考え方、将来計画を聴取し、同国政府との間でTerms of Referenceを討議し、その方針を確認するため事前調査を行い、さらにフィージビリティ調査を実施した。	53	海(事前)	53.10.22~53.10.31	2	745	
			54	海	54.2.18~54.3.10	13	44,616	
			54	海(報告)	54.12.17~54.12.23	6	96,498	
17	ASEAN工業プロジェクトタイ国岩塩ソー	本計画は、同国政府がカナダのSNC社に調査を依頼したSNCレポートをレビューし、同プロジェクトの技術的・経済的フィージビリティを評価し、	53	海(予備)	54.3.20~54.3.30	6	6,324	
			54		(報告書作成)	0	3,192	

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)		
	夕灰工場設立計画評価調査	バンコックの北東 265 km に位置するバムネット・ナロンから年間 180 万トンの岩塩を採掘、うち 40～50 万トンをソーダ灰用に、残り 130 万トンを塩として販売するものである。 昭和 56 年度は昭和 55 年度に実施した評価調査を終了後、ソーダ灰工場建設予定地が変更になったため、新しい 2 つの候補地における技術的・経済的比較評価を目的とする S/W 協議ミッションおよび S/W に基づく実施調査を行った。その結果、本プロジェクトは企業化の妥当性があるものの非常に外部依存度の高いプロジェクトであることが判明した。	54	海(1次評価)	54. 7.30～54. 8. 5	1	17,355		
				海(1次評価)	54.10.25～54.11.13	3			
						(報告書作成)			5,960
				海(2次評価)	55. 9.10～55.10. 2	14	58,408		
				海(2次評価)	56. 2.15～56. 2.21	6	17,203		
				海(報告)	56.11. 9～56.12. 2	2	25,921		
	海(報告)	57. 3.16～57. 3.21	2						
18	サムサコン工業団地開発計画調査	バンコック西方 30 km のサムサコン地区に近年進展の著しいバンコック首都圏の工場過密の状況を改善するため工業団地を建設するための F/S 調査。	54	海	55. 2. 4～55. 3. 5	10	36,541		
			55	海(報告)	55. 6.30～55. 7. 6	4	19,141		
19	ナムバイーチャム河水力発電開発計画調査	西北部のバイ川とパイ川に隣接する同国最大の河川である CHAOPIHAYA 河の支流・CHAM 川の水資源を活用し水力発電を中心とする総合開発のマスタープランを作成するもの。 昭和 54 年度の事前調査に引続き、昭和 55 年度は①河川の流況、性状等の水文調査、②ダム、揚水候補地点等を選出する土木調査、③地質調査、④電力関係の情報収集と計画策定、⑤かんがい、上水道、工業用水、経済評価等の調査を実施した。	54	海(事前)	55. 2.13～55. 3. 4	6	13,585		
			55	海	55.11.11～56. 1.19	9	67,226		
			56	海(報告)	56. 6.10～56. 6.19	1	22,137		
20	石油化学プラント設立計画調査	シャム湾で発見された天然ガスの生産過程で抽出されるエタンを利用しエチレンとその誘導品の VCM (Vinyl Chloride Monomer) を生産する計画の F/S である。 55 年度は予備調査に引続き、次の F/S を実施した。①原料調査、②市場調査、③技術調査、④経済、財務分析、⑤総合評価、⑥プロジェクト推進。	55	海(予備)	55. 7.20～55. 7.27	5	3,001		
				海	55.10. 6～55.11. 2	15	49,465		
				海	56. 3. 4～56. 3.10	3			
			56	海		0	3,226		
21	バンコク市配電網近代化マスタープラン計画調査	①1982～2001 年の 20 年間にバンコック市とその周辺の経済的可能な M E A 配電システムの開発、② M E A 配電系統計画に用いられる電算機プログラムの開発、③前記 20 年間の M E A 配電設備の最適プログラムの作成、④ M E A の設計と建設技術基準の開発、⑤同開発を推進するための技術者の合理的な養成計画の検討等を目的としたマスタープランの策定を実施する。 55 年度は事前調査に引続き電力公社の組織機能、電気料金システム、送電	55	海(事前)	55.12. 8～55.12.20	5	6,562		
				海	56. 3. 2～56. 3.22	5	9,844		
				海	56. 8. 2～56. 8.12	6	71,472		
				海	56.12. 7～56.12.19				
				海	57. 2.28～57. 3. 7				
57	海	(国内作業)	0	9,720					

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		<p>・変電・配電設備の現況把握を実施した。</p> <p>56年度は、配電網負荷予測、計画設計基準作成、MEAの現状分析、MEAの建設基準の見直し、配電網近代化のための投資計算を実施した。</p> <p>57年度は、MEAの組織機能、電気料金システム、送電・変電・配電設備の現状を調査し、その結果を最終報告書にとりまとめ、タイ国側に送付した。</p>					
22	金属加工業振興計画調査	<p>タイ国金属加工業全体の振興を図るため具体的な「実行プログラム」を策定する計画である。</p> <p>56年度においては、①要請背景および要請内容の把握、②関連情報の収集、③わが国の協力の可能性の調査を実施した。この結果、振興すべき金属加工業として、機械加工、組立、鋳造、板金、プレスに重点をおきたいとの同国側の意向が確認されたが、わが方協力の可能性については、なお詳細な検討を要するとの結論となった。</p> <p>58年度は、本格調査実施のための予備的情報の収集と、調査の範囲・内容を確定するS/Wについて協議し署名を行うとともに、タイ国の金属加工業の実態調査の手法、内容等につき協議・決定し、中小企業を中心に実態調査を実施した。</p> <p>59年度は本格調査を実施しその結果を最終報告書(案)にとりまとめ、現地説明を行った後、最終報告書を作成、送付した。</p>	55	海(事前)			52
			56	海(事前)	56.7.20~56.7.29	6	5,721
			58	海(事前)	58.9.5~58.9.14	4	2,585
			〃	海	59.1.17~59.1.25	3	16,103
			〃	海	59.3.21~59.3.29		
			59	海	59.5.14~59.6.13	13	67,326
			〃	海	59.8.7~59.8.17		
			〃	海(報告)	59.11.5~59.11.13	2	
23	ナムヤム河水力発電計画調査	<p>タイ国北部、サルウィン川支流のナムヤム川の水力発電開発に関して、技術的および経済的な妥当性を検討する。</p> <p>昭和56年度は、本格的なF/Sを開始する前に、1月下旬から18日間にわたって事前調査団を派遣し、S/W協議および署名を行った。</p> <p>57年度は、発電所サイト、ダムサイトの地質調査を行うとともにボーリング工事の指導監督を行った。</p> <p>58年度は、①第1次現地調査：A I Tに委託した土木材料試験結果のエバリュエーション、②第2次現地調査：タイ国側で実施したボーリング調査・透水試験の指導、③国内解析作業：現地調査結果の解析、ドラフト・レポートの作成、④ドラフト説明：最終報告書ドラフトによりタイ国側との打合せを行っ</p>	56	海(事前)	57.1.27~57.2.13	4	6,043
			57	海	57.8.16~58.3.25	17	88,953
			58	海	58.6.12~58.6.23	4	47,784
			〃	海	58.11.7~58.11.30		
			〃	海(報告)	59.1.24~59.2.3	2	

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		た。					
24	サンカンベン地熱開発計画調査	<p>タイ北部サンカンベン地域における地熱開発計画調査を行うものである。</p> <p>昭和56年度は予備調査に引続き、タイ政府機関との合意を得ることを目的とし、以下の調査を実施した。①サンカンベン地域の概略踏査、②要請内容の確認、③Scope of Workの策定、④S/W協議およびその合意。</p> <p>57年度は①地質調査及びその解析、②重力探査及びその解析、③磁気探査及びその解析、④タイ側掘削のモデルテスト井に対する物理検層、⑤深部電気探査、⑥弾性波探査、⑦地熱貯留層概念モデルの作成を目的とする調査を実施した。</p> <p>58年度は、昭和57年度実施した現地調査結果の国内解析を行い、当該地域における地熱貯留層構造モデルの作成および地熱ポテンシャル性の評価を行うことを目的とし、①地質コア調査、②ドラフト・テクニカル・レポート説明、③深部電気探査解析、④弾性波探査解析、⑤地熱構造モデルの作成、⑥地熱ポテンシャル性の評価、⑦調査井掘削のための試錐機材の供与を行った。</p> <p>59年度は約1,200mの調査井1本の掘削、物理検層コア調査等を実施した。</p> <p>60年度は地熱流体の挙動に大きく関与する断層を追跡するための地化学調査(フィンガープリント法)及び100m深度熱流量調査を行い、1,500m深規模の第2号調査井掘削位置を勧告した。この調査井は昭和61年度にタイ側の予算措置により、掘られることになっている。</p>	56	海(予備)	56.9.21~56.10.3	3	3,090
			〃	海(事前)	57.1.20~57.1.29	4	3,637
			〃	海	(機材供与)		32,881
			57	海	57.7.6~58.3.31	23	136,698
			58	海	58.6.15~58.6.24	1	74,228
			〃	海(報告)	58.10.17~58.10.25	2	
			〃	海	59.1.10~59.2.8	3	267,794
			59	海	59.5.9~60.3.8	19	117,762
			60	海	60.6.23~60.6.29	3	1,917
			〃	海	60.8.26~60.9.21	6	35,519
〃	海	60.10.28~60.12.5					
〃	海(報告)	61.3.11~61.3.15	2				
25	省エネルギープロジェクト開発計画調査	<p>タイ国製造工業分野の6業種55工場(繊維、食品、紙、金属、プラスチック、化学および窯業・ガラス)におけるエネルギー使用実態および省エネルギーの現状を把握することを目的とした工場診断を実施し(フェーズI)、その結果に基づき「エネルギー使用合理化判断基準(案)」を作成するとともに、「省エネルギー推進のための諸策」を提言する(フェーズII)計画である。</p> <p>56年度は、上記を実施するための調査の範囲を確保するS/Wに署名した。</p> <p>57年度は、第一次分(窯業・ガラス・紙)の現地調査の取りまとめ、ならびに第二次分(金属・繊維)の現地調査を行った。</p> <p>58年度は、第3次調査として化学および食品分野の工場に対するエネルギ</p>	56	海(事前)	57.3.18~57.3.27	4	2,337
			57	海	57.8.1~57.9.18	17	91,460
			〃	海	58.1.9~58.2.12		
			58	海	58.6.26~58.7.30	16	80,881
			〃	海	59.3.4~59.3.21		
			〃	海(報告)	59.1.18~59.1.27	3	
59	海(報告)	59.11.11~59.11.17	3	35,133			

年度	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		一診断を実施するとともに、「判断基準案」の作成および「諸策」の提言のため必要な協議と調査を行った。 59年度は、国内解析を実施し最終報告書を作成した。					
26	MAE-SOT地区産 オイルシェール利用セ メント工場建設計画	代替エネルギー開発のため、オイルシェールを利用してセメント工場を建設するためのF/Sを行うものである。 昭和57年度は、事前調査団を派遣し、①タイ国政府からの要請の背景、②S/W協議、③関連情報および資料の収集(イ)セメント産業および需給状況、(ロ)セメント工場関連の原材料の状況、オイルシェール採掘可能性、立地、水の供給可能性、(ハ)インフラ整備状況および地域電力需給状況、(ニ)メソット地区の政治、経済、文化概況)等について調査を実施した。 同調査結果に基づき、引続き現地調査においてセメント市場、電力需要、原料の適用性用役等に関する資料収集および分析を行い、国内解析作業においてプロジェクトの概念設計(イ)サイト選定、(ロ)原燃料の供給計画、(ハ)生産規模の決定)および財務分析、経済・社会的評価を行った。 昭和58年度は、国内解析作業を行い、ドラフトの説明を経て、最終報告書を作成した。	57	海(事前)	57.7.19~57.7.29	6	6,426
			ク	海	57.11.21~57.12.25	9	36,760
			58	海(報告)	58.7.31~58.8.6	4	24,857
27	ASEAN諸国鉱工業 プロジェクト選定確認 調査	アジア一般を参照のこと。	57	海	57.6.27~57.9.2	(4)	(503)
28	鉱工業プロジェクトフ ォローアップ調査	(タイ、フィリピン) アジア一般を参照のこと。	57	海	...	(5)	(5,467)
29	潤滑油製造プラント建 設計画	タイ国は潤滑油の半製品である基油を輸入し、ブレンドをすることにより潤滑油を製造している。一方、天然ガスの産出に伴い、重油が過剰となることから、重油から基油を製造するプラント建設のF/S調査の要請がなされた。このため、58年11月事前調査を行い本格調査のためのS/Wを締結するとともに、2月に本格調査を行い、国内解析作業を実施した。 59年度は前年度実施した本格調査の結果を最終報告書(案)にとりまとめ、現地説明を行い、最終報告書を作成、送付した。	58	海(事前)	58.11.16~58.11.25	5	6,432
			ク	海	59.2.19~59.3.17	7	21,727
			59	海(報告)	59.9.16~59.9.22	4	41,214

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
30	南バンコック火力発電所リノベーション協力計画	<p>本件は、57年11月、鈴木通商産業省技術協力課長を団長としたアセアン諸国プロジェクト選定確認調査(プラント・リノベーション)団がタイ国を訪問し、中曽根首相提唱のプラント・リノベーション協力の今後のとり進め方について関係機関と協議を行った際に取り上げられた案件である。58年度は、要請施設の概要調査、既存関連資料の収集とともに、タイ国側関係機関との打合せを行い、S/Wとして取りまとめ署名することを目的とする事前調査を実施した。</p> <p>59年度は、リノベーション計画策定のための現地調査を行うとともに、国内解析を行って最終報告書を作成し、タイ政府に提出した。</p>	58	海(事前)	59.3.21~59.3.30	5	5,656
			59	海	59.7.17~59.8.15	9	63,017
			59	海(報告)	59.12.16~59.12.22	2	
31	アセアン諸国鉱工業プロジェクト選定確認調査	アジア一般を参照のこと。	58	海	58.6.26~58.7.27	(4)	(387)
32	アセアン諸国鉱工業プロジェクト選定確認調査(プラント・リノベーション)	アジア一般を参照のこと。	58	海	58.10.30~58.11.12	(4)	(828)
33	ナムヤム川上流域水力発電開発計画	<p>本件は、タイ王国の北部ビルマ国境地帯に位置するナムヤム川上流域の水力発電開発計画M/Pを作成することを目的とする。</p> <p>59年度は、要請内容を把握するための予備調査と本格調査を実施するための事前調査を行いS/Wを締結した。</p> <p>60年度は、現地踏査、水文、地質、地形、電力事情、輸送、工事計画、社会経済、かんがい、環境補償等の現地調査を行い、その結果をインテリムレポートにまとめるとともに、9地点の開発計画の策定と評価を行い、各地点の開発優先度の比較検討を行った。</p>	59	海(予備)	59.12.5~59.12.15	3	3,303
			59	海(事前)	60.3.20~60.3.29	2	2,689
			60	海	60.7.8~61.1.10	14	103,670
34	ASEAN諸国鉱工業プロジェクト選定確認調査	(インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピン) アジア一般を参照のこと。	59	海	59.8.25~59.9.2	(1)	(280)
35	配電指令センター開発	地方部の配電網の拡充整備に対応し、配電系統の情報収集、制御、指令を集	60	海(事前)	61.3.11~61.3.21	5	5,880



№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
	計画	申して行う配電指令センターの設置計画を策定するものである。 昭和60年度は、事前調査団を派遣し、S/Wの署名を行った。					
36	ASEAN諸国鉱工業 プロジェクト選定確認 調査	(タイ・シンガポール) アジア一般を参照のこと。	60	海	60. 5. 7~60. 5.16	(1)	(351)
37	鉱工業プロジェクト選 定確認調査	(アルゼンティン、チリ、ペルー、インド、タイ、ジンバブエ) 世界一般を参照のこと。	60	海	61. 3.16~61. 3.22	8	4,918

資源開発計画調査事業

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	プロジェクト選定調査	(ジンバブエ、モロッコ、タイ) 世界一般を参照のこと。	57	資	57.12.12~57.12.16	3	3,587
2	オムコイ地域資源開発 調査	本件調査地域であるオムコイ地域は、スズ、タングステンの鉱床が知られており、これら鉱物にニオブ、タンタルなどの希少金属が含まれていることから、地質調査、地化学探査などの手法を用いてニオブ、タンタルの有望地区を抽出しようとするものである。58年度は、全域(1,000 km <sup>2</sup> )において地質調査、地化学探査を実施した。 59年度は、地質調査・地化学探査15 km <sup>2</sup> を実施した。 60年度は3カ年計画の最終年次調査としてトレンチ調査(1,810 m)、ボーリング調査(51孔、1,600 m)を実施し、タングステン品位0.7~1.23%、脈幅0.7~1.0 mの鉱脈を確認した。	58	資	58. 6. 5~58. 6.14	1	33,329
			〃	資	58.11.20~59. 2.14	10	
			59	資	59. 7. 9~59. 7.12	12	70,700
			〃	資	59.10.31~60. 1.30		
			60	資	60. 7.24~60. 7.27	14	130,276
〃	資	60.10.23~61. 2.28					

№	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)			
1	東北タイ技能開発学校設立計画	地方職業訓練体制の整備を目的とした東北タイ技能開発学校の設立。	52. 8.16	10	51	基本設計	52. 1.24～52. 2. 8	10	開発調査  (605)			
						52	報告書説明	52. 7.13～52. 7.22		5		
						60	フォローアップ	60.12. 1～60.12.14		(5)		
2	カセサート大学拡充計画	農業研究体制の強化のため、カセサート大学の研究施設の建設及び研究機材の供与。	53.10. 4	13	52	事前調査	52. 7.17～52. 7.31	7	開発調査  (257) (463)			
						54. 7.23	23	基本設計		52.10.17～52.10.31	11	
						57. 5.14	5	〃		53.11. 7～53.11.18	7	
								報告書説明		54. 3. 1～54. 3. 6	3	
								54		実施促進	55. 3.22～55. 4. 3	(2)
								57		〃	57. 6.30～57. 7.14	(2)
3	ソククラ沿岸養殖センター設立計画	沿岸増養殖開発を進めるため、技術開発、普及事業を通じ人材養成を行うセンターの建設。	54.11.19	8	54	基本設計	54. 9.24～54.10.14	6	開発調査  (257)			
							〃	実施促進		55. 3.22～55. 4. 3	(2)	
4	青少年福祉センター設立計画	青少年の教育を最重点として取り上げている第4次教育5ヶ年計画に基づき、市民と青少年が気軽に利用できるスポーツ・文化活動の拠点となる施設として、バンコク市北東部に青少年福祉センターの建設(チャクリ王朝200周年記念事業の一環)。	54. 7.23	10	54	基本設計	54. 6.10～54. 6.24	8	開発調査  (257) (159) 640 (605)			
						55. 7.21	19	報告書説明		54. 8.13～54. 8.19	3	
								〃		実施促進	55. 3.22～55. 4. 3	(2)
								55		〃	55. 6. 8～55. 6.21	(2)
								56		〃	57. 3.31～57. 4. 4	1
5	小規模ダム建設計画	東部カオイダン周辺は水利が悪いところ、小規模ダムを建設し、生活用、農業用の水資源開発を行って農業生産の向上、民生安定を図る。	56. 1.15	10	55	基本設計	55. 9.11～55.10.15	8	開発調査  (2,731) 968			
							〃	実施促進		55. 9.28～55.10. 7	(4)	
							58	フォローアップ		58.10.22～58.10.27	2	
6	稲原種貯蔵研究所建設計画	タイ国においては、600種以上の稲原種が発見されているが、水稻の育種に関する研究成果を向上させるためには、こうした稲の原種を良好な状態で保存することが不可欠である。しかし、タイには適正な保存施設がないことから、温度、湿度調節機能	55. 8.25	3	55	実施促進	55. 9.28～55.10. 7	(4)	(2,731) (260)			
							〃	〃		56. 4. 5～56. 4.13	(2)	

№	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		を有した貯蔵施設を有する稲原種貯蔵研究所を建設した。							
7	マハラート病院建設計画	地方農村部における医療サービスの向上に必要な医療施設の拡充と医療従事者の増員及び能力開発の強化のためタイ南部ナコンシタマラート市にマハラート病院を建設した。	55.7.21 56.6.8	16 20	54 55 55 60	事前調査 基本設計 報告書説明 実施促進 フォローアップ	54.8.14～54.8.28 54.12.2～54.12.22 55.2.12～55.2.21 55.6.8～55.6.21 56.4.5～56.4.13 60.12.1～60.12.14	4 8 4 (2) (2) (5)	開発調査 (159) (260) (605)
8	バンセン海洋科学センター建設計画	海洋科学に関する研究教育の促進、普及をはかるため、シナカリンウィロート大学バンセン校内に海洋科学センターの建設。	56.6.8	23	55	事前調査 基本設計	55.12.15～55.12.26 56.2.4～56.2.13	4 6	開発調査
9	マハサラカム看護学校建設計画	看護婦の絶対的不足の解消のため、東北都マハサラカムに看護学校の建設	56.6.8	18.6	55 59	基本設計 実施促進	55.10.27～55.11.16 59.9.13～59.9.21	7 (2)	開発調査 (633)
10	極東部タイ職業訓練センター建設計画	カンボディア難民流入により被災民となったタイ国人に対し、生活向上を図るため、職業訓練を実施するセンター建設	57.2.11	5.8	56	基本設計 実施促進	56.11.1～56.11.15 57.2.9～57.2.17	4 (2)	開発調査 (555)
11	中央造林研究訓練センター建設計画	森林資源保護のため造林技術の普及および研究を目的とした中央造林研究訓練センターをバンコク市に、フィールド・ステーションをサケラートに建設した。	57.6.24	20	56	事前調査 基本設計 報告書説明	56.7.19～56.7.28 56.10.27～56.11.14 56.12.20～56.12.26	1 7 4	開発調査
12	貿易研修センター建設計画	貿易実務に関する計画的研修による人材の育成輸産品の規格策定、品質管理技術の向上、新市場の開拓を目的とする貿易研修センターの建設。	57.6.24	15	56 57	基本設計 報告書説明 実施促進	57.1.6～57.1.14 57.2.8～57.2.21 58.3.27～58.3.31	7 5 (1)	開発調査 (453)
13	スコタイ・タマチラート放送大学番組制作センター建設計画	ラジオ・テレビを通じ、高等教育を行うことを目的として1978年にスコタイ・タマチラート放送大学が創設されたが既存のスタジオ番組制作所では対応できなくなった	56.6.24	17.65	56 57 58	基本設計 報告書説明 実施促進	57.1.24～57.2.13 57.5.23～57.5.29 59.1.17～59.1.28	7 5 (2)	開発調査 (434)

№	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		ため、番組制作センターの建設および機材の供与を実施した。							
14	プライマリー・ヘルスケア訓練センター建設計画	基礎保健活動推進の役割を担う保健指導員に対する訓練を行い併せて訓練方法、内容の質的向上のため各種研究調査を行うプライマリー・ヘルスケア訓練センターの建設。	57.10.29	18	56	事前調査	57.3.16～57.3.25	2	開発調査
			58.6.27	12	57	基本設計	57.5.23～57.6.19	7	
					〃	〃	57.9.26～57.10.2	3	
					57	実施促進	57.10.13～57.10.22	(2)	
15	バンコク排水設備整備計画	河川の未改修、雨期の集中豪雨、地盤沈下により浸水問題に悩まされているバンコク市の排水設備の整備に必要な機材の供与。	57.10.29	2.3					
16	内水面漁業センター建設計画	内水面の高度利用を図り、漁獲水揚量を増大させるため全国各地の漁業ステーションの改善、種苗生産技術・育種改良技術のレベルアップを計画しており、各漁業ステーションの指導的役割をはたす内水面漁業センターの建設。	57.10.29	11.85	56	事前調査	57.1.6～57.1.14	7	開発調査
					〃	〃	57.2.8～57.2.21	7	
					57	基本設計	57.4.10～57.4.30	7	
17	貧困撲滅計画	タイ国政府は絶対的貧困の撲滅、後進地域の開発促進を重点施策として掲げており、過去諸施策を講じてきたが、各種の情報不足、情報の統一的処理、処理能力の欠如により十分な成果があがっていないため、情報処理センターを設置し意欲的に政策を実施することとした。この計画に必要なコンピュータ機器等の機材の供与。	57.12.27	4.7	57	事前調査	57.5.11～57.5.18	4	開発調査
					〃	基本設計	57.8.30～57.10.8	7	
					〃	報告書作成	57.12.5～57.12.11	5	
					〃	実施促進	57.12.18～57.12.25	(1)	
18	農業普及センター建設計画	メクロン地区の農民を対象に農業普及を行う施設の建設。	58.3.30	1.56	57	基本設計	57.6.20～57.8.3	7	開発調査
					〃	報告書作成	57.11.14～57.11.25	2	
					60	フォローアップ	60.12.1～60.12.14	((5))	
19	国境周辺住民生活環境整	カンボディア、ラオスとの国境周辺に居	58.5.3	4.95	57	基本設計	57.11.24～58.1.22	9	開発調査

№	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
	備計画	住する住民の生活環境整備の一環として生活用水供給施設の建設。	59. 9.17	5.67	59	実施促進	60. 1.28～60. 2. 6	2	1,183
20	かんがい技術センター建設計画	拡散している既存の灌漑技術力、技術情報を系統的に整備し、技術職員の研修も行う灌漑技術センターの建設	58. 6.27	17.7	57	事前調査	57.11.30～57.12. 9	3	開発調査
					基本設計	58. 2.18～58. 3.12	10		
					報告書説明	58. 4.20～58. 4.29	5		
21	労災リハビリセンター建設計画	タイ政府は労働環境改善、福利厚生改善等労働者の保護対策を打ち出すとともに被災労働者の早期職場復帰、職業的自立を促すこととしている。このため労災リハビリセンターの建設および機能回復訓練用機材の供与を実施した。	58. 9.16	10.9	57	事前調査	57.11.15～57.11.27	5	開発調査
					基本設計	58. 5.23～58. 6.11	8		
					報告書説明	58. 8.16～58. 8.25	4		
22	東北タイ農業開発研究所建設計画	タイ政府は第5次国家経済社会開発計画を策定し、地域開発と貧困撲滅を最重点政策として掲げ諸施策を実施しており、東北タイ・コンケン市郊外に土地利用、作物生産技術等の研究、調査を行う施設の設立を計画した。本計画の実施に必要な施設の建設および研究用機材の供与を行った。	58.12. 8	12.8	58	事前調査	58. 6. 8～58. 6.16	2	開発調査
					基本設計	58. 8. 7～58. 8.27	7		
					報告書説明	58.11. 9～58.11.15	4		
23	タマサート大学日本研究センター建設計画	タマサート大学内に、政治、経済、文化を含めた総合的な日本研究の中核となるセンターの建設。	58.12. 8	11.5	58	基本設計	58. 7.10～58. 7.30	6	開発調査
					報告書説明	58.10. 2～58.10.10	4		
24	家畜衛生改善計画	51、52年度に無償資金協力により設立された口蹄疫ワクチン製造センターのワクチン製造機能の強化拡充に必要な機材の供与。	58.12. 8	1.3					
25	マラリア抑制計画	国境地域の民生安定と経済開発のため、マラリア抑制に必要な薬剤、広報用視聴覚機器等の供与。	58. 6.27	3.5					

№	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
26	新村建設計画	カンボディア、ラオスとの国境周辺に居住する住民の生活基盤の整備を図るため、かんがい用水、ため池の建設に必要な土木用機材の供与	58.6.27	10	55	実施促進	55.7.28～55.8.7	1	486
					58	〃	58.8.1～58.8.10	(1)	(314)
					59	〃	59.6.2～59.6.10	(2)	(1,020)
					〃	〃	59.8.10～59.8.18	(1)	
27	チェンマイ大学放射線機器整備計画	北部タイ15県を管轄する最大規模のチェンマイ大学附属病院の放射線治療施設の拡充に必要な機材の供与	58.9.16	5	58	実施促進	58.12.9～58.12.18	2	2,662
					〃	〃	59.2.26～59.3.3	2	
28	地方生活用水緊急改善計画	地方の小規模村落の生活用水を確保するため井戸一掘削用機材の供与	59.9.16	10	58	実施促進	58.10.2～58.10.15	(2)	(783)
29	フェイタキエンダム強化計画	昭和55年に日本からの無償資金協力によりカンボディア難民の生活用水および周辺住民のための灌漑用水の安定的確保を目的として建設されたフェイタキエンダムが集中豪雨により一部決壊したため、これの修復および強化。	58.11.16	1.55	58	実施促進	58.11.27～58.12.7	(2)	(659)
30	バンコク市洪水対策機能強化計画	例年雨期の洪水に悩まされるバンコク市の洪水に対し、緊急を要する排水ポンプの供与	59.4.2	3	59	実施促進	59.4.22～59.4.28	2	417
31	国立衛生研究所設立計画	タイ政府は国家経済社会開発5ヶ年計画において、同国の疾病率の低下、地方における医療サービスの向上を目標として掲げている。この目標を実現するため、いわゆるはだしの医者の育成のみならず、衛生研究の推進、検査機能の強化、疾病予防技術の開発等にも重きをおくこととしている。この為、感染症の研究、食品、薬品及び毒物の分析研究等を行う研究所を建設した。	59.6.8	24.5	58	基本設計	58.11.15～58.12.7	8	開発調査
			60.7.10	14.56	〃	報告書説明	59.2.27～59.3.7	6	
32	東部臨海開発環境保全計	タイ国政府は第5次社会、経済開発5ヶ	59.6.8	1.2					

画	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
	画	年計画において、国産エネルギーの開発利用を図り、産業構造の準工業国へ変換する目標を立て、その一環として同国東部臨海地域を対象に電化学工業を中心とした開発を推進することとしている。しかし同時に工業化による大気水質をはじめとする地域環境が劣悪化することを危惧している。このため、恒常的な環境調査、観測を行うのに必要な観測、調査機材を供与した。							
33	モンクット王工科大学拡 充計画	タイ国政府は第5次社会経済開発5ヶ年計画において、従来の農業依存型産業構造から準工業国への転換を目指している。このため、タイ国唯一の工科系単科大学であるモンクット王工科大学はその性格上、上記目標に向けての人材養成機関としての機能を強化することが強く求められている。同校は1990年までは現行の4学部から8学部拡充される予定であり、増加する学生数に見合った講義室、実験室等を、昭和59年度から61年度まで3期に分け、建設し機材の供与を行う。	59.7.16 60.7.10	8.44 28.60	58 〃	基本設計 報告書説明	58.8.7～58.8.27 58.10.23～58.11.1	6 3	開発調査
34	社会教育文化センター建 設計画	タイ国政府は第5次社会経済開発5ヶ年計画において、経済活動及び教育・文化活動のバランスのとれた成長を目標としている。一方、社会教育、文化活動に必要な施設は不足しており、寺院、学校等を止むなく利用している状況にある。こうした情勢を背景として、タイ政府はタイの伝統的文	59.7.16 60.7.10	12.03 21.34	57 〃 58 〃	事前調査 〃 基本設計 〃 報告書説明	57.9.12～57.9.19 58.1.25～58.1.29 58.9.25～58.10.14 58.11.30～58.12.9 59.2.5～59.2.11	4 5 12 7 5	

№	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		化・芸能を国民に紹介し、歴史・文化に関する講義を催し、併せて外国文化、芸術等の紹介を活動内容とする教育文化センターの設立を計画した。 本計画を実施するため施設の建設を昭和59年度から61年度まで3期に分けて行う。							
35	ラヨン海洋漁業センター 拡充計画	タイ国の漁業は、近隣諸国の200海里経済水域の設定により、既存漁場が削減されていること、タイ湾の漁業資源が涸渇状態にあること等の問題に直面しており、早期の対策が求められている。このため、タイ国政府は、海面漁業の開発について、資源保護管理のための漁業資源の調査・解析、沿岸漁業開発未利用資源の開発のための漁具・漁法の研究開発及び漁民に対する訓練指導を計画した。右計画に必要な施設を建設し、機材を供与する。	59. 9.17	9.35	58	事前調査	58.12.11～58.12.21	3	開発調査
						基本設計	59. 3.11～59. 3.31	7	
36	食糧増産援助	肥料、農機具、農薬の供与。	59. 9.17	36	59	実施促進	59.12. 5～59.12.14	(3)	(978)
						〃	60. 9.11～60. 9.18	(1)	
						〃	61. 3.19～61. 3.27	(2)	
37	地域労働安全衛生改善計画	タイ国では製造業を中心とする工業化の進展に伴い、工場労働者が増大しており、労働災害、職業病等が大きな社会問題となっているが、タイ政府による対策も、この分野での専門家不足、事業主の理解不足等もあり、進行していない。本計画は、こうした現状を打開すべく、同国有数の工業地	59.12.27	2.19	59	実施促進	60. 3.13～60. 3.20	1	646

タイ



№	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)	
		帯であるサムトラカン県に於てマヒドン大学を中心に県の関係機関が連携をとりつつ労働環境の向上を推進しようとするものである。本計画にもとづく活動は、研究事業の他、直接工場に立入り、労働者の健康診断、工場の環境測定を実施するという実践的なものである。これら活動に必要な環境測定用機材、健康診断用機材、保安用品等供与する。								
38	国立家畜衛生研究所建設 計画	畜産開発を行う上で最大の阻害要因は資源の損失及び生産性の低下をもたらす家畜症病である。タイ国では、口蹄疫等の伝染病が発生しているが、これは同国が高温多湿という病原体が増殖しやすい気象条件にあることに加え、同国の防疫体制（疫病に対する調査、診断、情報網の整備等）のた遅れによるところが大きい。このためタイ国政府は新研究所を設立し、関連技術力を充実強化させ、又、中央で集積した技術的な成果を地方に還元するための拠点とし、併せて家畜衛生担当の訓練の実施を図ることとした。この研究所設立に必要な施設建設、機材の供給を行う。	60. 3. 7 60. 7. 10	17.85 5.72	59 〃 〃	事前調査 基本設計 報告書説明	59. 7. 15～59. 7. 27 59. 9. 19～59. 10. 9 59. 12. 18～59. 12. 25	4 7 4	開発調査	
39	農業協同組合地域訓練センター建設計画	タイでは近年拡大している首都圏と地方農村との経済・社会的格差に対処し、地方における貧困の解消を図るための諸施策の一環として、地域農業協同組合訓練センターを建設し、より多くの農業協同組合指導	60. 3. 7	5.98	59 〃	基本設計 報告書説明	59. 9. 2～59. 9. 18 59. 12. 11～59. 12. 18	5 4		開発調査

№	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		者及び組合員の資質の向上を図り、農民の組織化を通じ、農協活動を振興し、さらには農業生産性の向上、流通の合理化を図ることとしている。 このため必要な施設の建設、機材の供与を行う。							
40	水道技術訓練センター建設計画	水道技術者を養成するため、中央訓練所の建設及び資機材の供与。	60.7.10	11.73	59	基本設計	60.1.8～60.1.28	7	開発調査
					〃	報告書説明	60.4.7～60.4.13	3	
41	職業訓練センター活動拡充計画	3県を対象とする職業訓練センターの活動拡充に必要な機材及び車輛の供与。	60.4.11	3.1	60	実施促進	60.5.13～60.5.18	(2)	((370))
42	金属加工機械工業開発研究所建設計画	農業機械、電気製品、建設機械の国産化を図るため、エンジニアリング産業開発の中核となる研究所の建設。	60.10.4	10.04	59	基本設計	60.1.14～60.2.2	9	開発調査
					60	報告書説明	60.7.3～60.7.9	4	
					〃	〃	60.7.30～60.8.7	2	
43	チャンネル11テレビ局設立計画	バンコック市内に全国テレビ網及び全国教育テレビ網の拠点となるテレビ送信所、チャンネル11テレビ局の設立。			60	事前調査	61.3.31～61.4.11	4	2,387
44	病害虫発生予察防除計画				60	実施促進	60.5.13～60.5.18	(2)	((370))
45	トウモロコシ品質向上センター建設計画	トウモロコシの品質向上を目指す研究所、施設の建設			60	基本設計	61.4.9～61.5.1	7	2,141
46	遠隔地域電化計画	遠隔地4ヶ村の太陽光による電化に必要な機材の供与。	60.4.11	4.83	60	実施促進	60.5.13～60.5.18	(2)	((370))
47	建築比較調査	タイ国における建築工事に関し、資材価格、歩掛等の工事費積算単価および現地調達、輸入事情等の調査を行った。			56	実施促進	57.4.4～57.4.17	6	4,080
					57	実施促進	-	-	1,082
48	現地調達の実態調査	(フィリピン、タイ) 現地調達事情に関し、調査を行った。			60	基礎調査	60.11.18～60.11.30	(2)	(4,555)

( 開発協力方式技術協力 )  
開発基礎調査

プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)	
とうもろこし開発協力 事業	昭和50年3月に実施された開発基礎調査にもとづき、タイ国のとうもろこし開発に関する計画に対し、日本側がすでに実施している資金協力、実施しようとしている技術協力事業を踏まえて、更に拡大することの可能性、日本側協力のあり方を、資金、技術等に関し総合的に検討し、具体的方策を策定することを目的として、とうもろこし増産に必要とされるかんがい栽培技術、流通組織等の問題点とその対策を調査し、すでに実施している農協間協力事業の拡大と資金協力の具体的計画を策定するため、主としてAGPT(Agricultural Co-operatives Federation of Thailand)、BAAC(Bank of Agriculture and Agricultural Co-operatives)等との協議と農協間協力としての全農プロジェクトの現地事情の調査が実施された。	49	開発基礎調査	50. 3. 3~50. 4. 1	8	5,381	
		50	〃	( 報告書作成 )			590
		51	開発計画調査	51. 9.17~51.10. 2	5+(2)	4,465	
未利用樹開発協力	( マレーシア、タイ ) アジア一般を参照のこと。	53	基礎一次調査	54. 4. 1~54. 4.30	(6)	(2,690)	
		54	〃	( 同上報告書作成 )		(418)	
		54	〃	( 過年度処理 )		(198)	
特用作物栽培開発協力	チェンマイ地区ラングーン市郊外は米作中心の農業で短期換金作物の導入により農家の経営安定収入増が望まれている。本件は当地域で、ゴマ、ホウキ草等の栽培を企画するもので進出意欲のある企業を得て栽培の可能性調査、開発候補地の踏査、概定ならびに開発基本構想の策定を行った。	54	基礎二次調査	54. 5.30~54. 6.13	6	4,409	
タングステン鉱山開発 関連施設整備計画調査	Toyoda Thailand Co. (TTC) は、タイ王国北部のチェンマイ西方50kmの地点で、タングステン鉱山の開発を進めており、錫・タングステン鉱床を探索中で、現在までに一部その存在を確認している。今後引き続き探索を進め、1982年頃操業規模を決定して本格操業に移る予定である。  本調査は、TTCタングステン鉱山の開発を円滑に進める上で必要であり、かつ、将来JICAから融資を受ける可能性のある道路、用水および鉱山都市施設の整備計画につき、周辺住民の福祉向上、地域経済の発展にも寄与できるよう、技術的・経済的検討と提言を行うことを目的として実施するものである。	54	関連施設整備調査	55. 1.22~55. 3.16	7	19,490	
		55	〃	( 同上報告書・技術費 )			27,647
コーヒー栽培開発計画 調査	本調査は、コーヒー栽培技術の低いタイ国において、アラビカ種コーヒー栽培試験事業に関する開発計画を策定するものである。	55	開発計画調査	56. 2.14~56. 2.25	7	6,279	
		56	〃	( 報告書作成 )			332

プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
	昭和55年度は、コーヒーの生産、加工、流通を調査し、事業計画、栽培計画策定のための調査を行った。					
木質エネルギー利用開発協力	(タイ、ネパール) アジア一般を参照のこと。	59	基礎一次調査	59.6.10~59.6.24	(6)	(3,028)
東南アジア特用林産開発協力	(シンガポール、マレーシア、タイ) アジア一般を参照のこと。	60	基礎一次調査	60.11.8~60.12.3	(4)	(1,173)

投融資審査等調査

プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
農業開発投融資審査等調査	(マレーシア、タイ) アジア一般を参照のこと。	50	投融資審査等調査	50.10.14~50.11.2	(3)	(894)
農業開発投融資審査等調査	(タイ、オーストラリア) 世界一般を参照のこと。(第3分冊)	50	投融資審査等調査	50.11.22~50.12.8	(4)	(1,666)
投融資審査等調査	(マレーシア、タイ) アジア一般を参照のこと。	51	投融資審査等調査	51.11.7~51.11.21	(3)	(861)
農業投融資審査等調査	(インドネシア、フィリピン、タイ) アジア一般を参照のこと。	52	投融資審査等調査	52.10.4~52.10.25	(5)	(1,011)
鉱工業投融資審査等調査	(フィリピン、タイ) アジア一般を参照のこと。	52	投融資審査等調査	52.10.12~52.10.29	(3)	(1,082)
農業投融資審査等調査	(インドネシア、タイ) アジア一般を参照のこと。	54	投融資審査等調査	54.6.25~54.7.9	(4)	(1,201)
投融資審査等調査	(フィリピン、タイ) アジア一般を参照のこと。	55	投融資審査等調査	55.8.12~55.8.24	(4)	(1,056)
投融資審査等調査	(マレーシア、タイ) アジア一般を参照のこと。	56	投融資審査等調査	56.11.21~56.12.5	(3)	(1,354)
林業投融資審査等調査	(マレーシア、タイ) アジア一般を参照のこと。	57	投融資審査等調査	57.8.2~57.8.16	(4)	(1,629)

タ  
イ

プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
投融資審査等調査	開発投融資対象事業である「タイとうもろこし開発事業」に係る融資後調査および当該事業に関連し、昭和51年以来事業団によって既に106名の研修員を受入れた実績を有する開発協力研修に対する現地における評価ならびに成果の確認のための調査を行った。	57	投融資審査等調査	57.11.23~57.12.4	(4)	(2,645)
農林業投融資審査等調査	(タイ, スリ・ランカ) 投融資制度説明会を実施した。	57	投融資審査等調査	58.2.27~58.3.14	(3)	(1,434)
農業投融資審査等調査	(タイ, スリ・ランカ) アジア一般を参照のこと。	58	投融資審査等調査	58.9.6~58.9.20	(4)	(1,784)
林業開発投融資審査等調査	タイ国, パラウッド材集成材開発試験事業に関する融資前調査, およびチェンマイ試験造林事業に関する融資後調査。	58	投融資審査等調査	58.9.3~58.9.17	4	3,159
農業投融資審査等調査	(フィリピン, タイ) アジア一般を参照のこと。	60	投融資審査等調査	60.10.15~60.10.26	(4)	(1,269)

開発協力技術指導  
その1 専門家派遣

プロジェクト名	年 度	人 数	派 遣 期 間	経費実績(千円)	技 術 指 導 内 容
とうもろこし開発協力	53	1	54.3.31 ~ 55.3.30	640	農協組織改善 (トウモロコシの流通)
とうもろこし開発協力	55			1,045	
コーヒー栽培	58	1	59.4.8 ~ 59.4.22 (58年度予算にて派遣)	732	コーヒー, アラビカ種の栽培 管理, ロブスター種の病虫害防 除技術の指導

その2 研修員受入

研 修 科 目	年 度	人 数	研 修 期 間	研 修 場 所	経 費 実 績(千円)
「農協を通ずる農業開発」プロジェクト リーダー養成コース	49	3	50. 3. 5 ~ 50. 3. 28	財アジア農業協力組合振興機関	1,134
〃	50	10	50. 6. 17 ~ 50. 7. 16	〃	4,508
〃	51	15	51. 6. 15 ~ 51. 7. 14	〃	7,179
〃	52	15	52. 6. 13 ~ 52. 7. 12	〃	8,548
〃	53	15	53. 6. 25 ~ 53. 7. 25	〃	9,400
〃	54	15	54. 7. 1 ~ 54. 7. 31	〃	11,272
農協関連農業開発	55	15	55. 6. 24 ~ 55. 7. 23	〃	12,423
農 協 育 成	56	20	56. 7. 6 ~ 56. 8. 7	〃	18,211
農協関連農業開発プロジェクトリーダー 養成(とうもろこし開発)	57	10	57. 7. 23 ~ 57. 8. 23	〃	11,671
〃	58	3	58. 8. 21 ~ 58. 9. 20	〃	3,942
〃	59	2	59. 10. 15 ~ 59. 11. 14	〃	3,790

〔 開発投融资 〕

融資承諾 年 月	事 業 名	事 業 地	対 象 事 業	貸付条件・承諾額・契約額				貸付実行額		備 考		
				金利(%)	返済期間 (内据置年)	承諾額 (百万円)	契約年月	契約額 (百万円)	年 度		実行額 (百万円)	
46. 2. 5	クンパワピ製糖開発事業	ウドン県	基幹農道	0.75	30(3)	96.6	46. 2.10	96.6	(海外資)	96.6		
48. 3.19	クンパワピ製糖開発事業	ウドン県	道路、橋	0.75	20(3)	40	48. 6. 5	40	(海外資)	40		
50. 3.28	とうもろこし開発事業	タイ中北部	2,222 ha とうもろこし生産	2.5	15(4)	227	58. 8.15	152.6	5 0	69.7		
									5 1	23.4		
									5 2	48.5		
									53. 3. 6	74.4		
									5 2	25.4		
5 3	26.9											
51. 2. 4	クンパワピ製糖開発事業	ウドン県	道路、井戸	0.75	19(3)	217	51. 2.13	120	5 0	120		
									52. 1.28	97	5 1	97
51. 2.23	チェンマイ試験造林事業	チェンマイ	325 ha 九重桐試験造林	0.75	20(5)	79.6	51. 3.29	33.9	5 1	33.9		
									52. 7.20	33.1	5 2	18
											5 3	15.1

融資承諾 年月	事業名	事業地	対象事業	貸付条件・承諾額・契約額				貸付実行額		備考	
				金利(%)	返済期間 (内据置年)	承諾額 (百万円)	契約年月	契約額 (百万円)	年度		実行額 (百万円)
							54. 1.23	12.6	5 3	12.6	
52. 2.26	パイナップル開発事業	タイ・ブランブリ地区	道路, 飲料水施設	0.75	20(5)	186	52. 3.31	186	5 1	86	36.1 不費
									5 3	63.9	
52. 8. 3	ブランブリ砂糖開発事業	タイ・ブランブリ地区	道路, 橋梁	0.75	20(5)	300	52.10.14	210	5 2	193.5	
									5 3	16.5	
							54. 4.25	30	5 4	30	
54. 8.31	チェンマイ試験造林事業	チェンマイ	266 ha 桐の試験造林	0.75	17(2)	58	54. 9. 7	28	5 4	28	
							55. 6.19	30	5 5	30	
55.12.23	トラン未理用樹開発試験事業	トラン県	ゴム廃木の利用開発	0.75	10(4)	80	56. 7.21	50	5 6	50	
							58. 2. 8	10	5 7	10	
							58. 9. 5	10	5 8	10	
57.12.27	コーヒー栽培試験事業	ナコンナヨーク県	栽培密度試験, 施肥試験, 整枝試験	0.75	20(5)	206	58. 3.24	52	5 7	52	
							58.10.14	28.3	5 8	28.3	
							59. 2.28	27	5 9	27	
							60. 9.20	41	6 0	17	

ヴェトナム

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態	29~55		56		57		58		59		60		累計	
	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)
研修員	410,532	637	-	-	-	-	-	-	-	-	6,796	5	417,328	642
専門家	559,180	163	-	-	3,835	6	1,464	1	-	-	6,746	6	571,225	176
調査団	189,153	132	-	-	23	-	44	-	-	-	8	-	189,228	132
協力隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
機材供与	963,745	-	28,932	-	4,059	-	29,300	-	-	-	1,156	-	1,027,192	-
その他	4,049	-	-	-	991	-	141	-	-	-	1,127	-	6,308	-
合計	2,126,659	-	28,932	-	8,908	-	30,949	-	-	-	15,833	-	2,211,281	-

ヴェトナム

(2) 形態別・分野別

形態	分野 人数 累計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 累計 (千円)
		開発 計画	行政	公益 事業	運輸 交通	社会 基盤	通信 放送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商業 貿易	観 光	人的 資源	科学 文化				
研修員	642	18	96	6	17	21	26	88	22	1	26	6	25	9	11	5	58		188	2	17	417,328
専門家	176	1					15	31			4		5				22		97		1	571,225
調査団	132	1		32	11	3	5	34						8					5		33	189,228
協力隊																						-
機材供与																						1,027,192
その他																						6,308
合計																						2,211,281



2 事業別実績

[一般の技術協力]

研修員受入事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)		
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化						
29年度	3									3													10,542	
30 "	2		1				1																	
31 "	26		16					1	9															
32 "	37		2					15	6		4							5		5				
33 "	(3) 25							8			13		4	(2)								(1)		
34 "	17		4		2			3					1					4		3				
35 "	35						2	3			2		2				13		13					
36 "	(1) 7	1			1			1	1		1		2	(1)										
37 "	23	1	5		1		3	7	1		1		3									1		
38 "	(1) 9		6		1			1					(1)									1		
39 "	11	1	2			1		1			2									4			2,698	
40 "	(1) 11		6		(1)			3					2										3,427	
41 "	27		6				2	8							1				10				8,002	
42 "	22		2		2		3	3				1					1	1	9				5,595	
43 "	16		3			1												1	10		1		6,841	
44 "	(1) 53	1	(1) 10			1	1	8	1			1	1				4		23		2		16,954	
45 "	(4) 47	3	9		1	5	3	(1) 6	1		(1)	1	1		(2) 1	1	7		7		1		24,391	
46 "	(1) 55		(1) 9	2	1	3	1	5				2	4	4	2	1	8		13				28,614	
47 "	51	2	2	2	1	2	1	4					2		4	1	3		24		3		44,712	
48 "	(4) 83	7	3	2	3	4	6	(2) 4					1	(1) 1	2	1	8		35	2	(1) 4		82,049	
49 "	(2) 75	1	(1) 8		4	4	3	(1) 5		1	3	1	2	4	1		4		30		4		85,018	
50 "	2	1	1																				28,053	
51 "	0																						42,677	
52 "	0																						17,253	
53 "	0																						2,833	
54 "	(2)							(2)															873	
55 "	(2)							(1)											(1)				0	
56 "	0																						0	

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林・水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費  (千円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
57年度	(2) 0				(1)			(1)															0
58 "	(2) 0				(2)																		0
59 "	(10) 0							(2)		(6)			(2)										0
60 "	(4) 5		1					2						(4)					2				6,796
合計	(40)642	18	(3)96	6	(4)17	21	26	10	88	22	(6) 1	(1)26	6	(2)25	(5) 9	(6)11	5	58	(1)188	2	(2)17		417,328

ヴィエトナム

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)	
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化					
30年度																							
31 "	4							2				2											51,910
32 "	2							1									1						
33 "	4							1			2						1						
34 "	5							2			2						1						
35 "	4							2			1						1						
36 "	2							1									1						
37 "	4							1				1					2						
38 "	0																						
39 "	2							1									1					10,242	
40 "	2																1	1				9,798	
41 "	1																1					11,795	
42 "	2										1						1					13,362	
43 "	2																2					9,194	
44 "	6						5	1														6,200	
45 "	2																1			1		12,879	
46 "	10						8	1									1					16,916	
47 "	(1) 4				(1)		2	1									1					11,385	
48 "	0																					17,574	
49 "	2							2														33,001	
50 "	0																					12,488	
51 "	0																					0	
52 "	0																					0	
53 "	0																					0	
54 "	0																					0	
55 "	0																					0	
56 "	0																					0	

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林・水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費  (千円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
57年度	0																						50
58 "	1							1															1,445
59 "	0																						0
60 "	3																3						2,944
合 計	(1)62					(1)	15	17		4		5					19		1		1	221,183	

(注) カッコは国際機関専門家で外教である。

(一般の技術協力に係る機材供与)  
単独機材供与事業

№	機 材 名	機 材 供 与 先	年度	機材供与経費 (千円)
1	教育テレビ用機材	教 育 省	45	49,932
2	養蚕関係機材	農 業 省	47	4,285
3	視聴覚機材	保 健 省	47	126
4	語学研修機材	サイゴン大学	50	(注)補償金) 753
(文献技術情報供与)				
1	技 術 文 献 ( 91冊)		58	739
2	技 術 文 献 ( 131冊)		60	938
計	4 件			56,773

(注) 昭和50年3月、当時の南ヴェトナム共和国政権崩壊により購送業務が不能となった当該機材の購入契約解除等補償金

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業

グ  
イ  
エ  
ト  
ナ  
ム

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)		
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数	経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)			
サイゴン病院 協定等の種類：R/D 署名年月日：48.6.10 協力期間：41～50.3 国内協力機関： 順天堂大学医学部	サイゴン病院に対する協力は、昭和41年度より開始され、これまで外科医、麻酔医など医療専門家を派遣すると同時に、医療品および医薬品等の医療器材を供与した。また、同病院は、サイゴン市内における救急外科病院として中心的役割を果たしているが、手術中にも時々停電するため、発電機等、必要な機材も併せて供与した。	41					※1	1	...	発電機、医薬品	6,577		
		42						2	—	...	外科及び麻酔用器材	12,882	
		43						2	—	...		4,488	
		44						2	—	...		7,581	
		45						2	—	...	X線テレビ装置	23,461	
		46						2	1	...	X線防護用屏	4,986	
		47	計 打 合 せ	48.3.25～ 48.3.31	(3)	(942)	3	2	15,208		空調機、医薬品	⑧ 175 31,708	
		48						3	2	16,596	医薬品	⑧ 973 30,664	
		49						3	1	21,898	医薬品	⑧ 172 48,312	
		50						3	—	7,051		1,179	
チョウライ病院 協定等の種類： 交換公文 署名年月日：42.6.10 協力期間：41～50.3 国内協力機関： 日本大学医学部	本件プロジェクトに対する協力は、昭和42年6月「日本とヴィエトナム両国政府間の医療協力に関する交換公文」にもとづき実施され、これまでチョウライ病院脳外科病棟（不動産供与）の建築ならびに同部門における診療活動および医学研究に必要な機材、医薬品類の供与を実施するとともに、脳外科医、X線技師等の医療関係専門家を派遣し、多大な成果をあげ、昭和49年度をもって終了した。  なお、本プロジェクトは、わが国最大の医療協力プロジェクトの1つである。	41						3	...	X線装置、脳波計、心電計	26,945		
		42	予備調査	42.5.15～ 42.5.24	3	...	2	4	...	脳神経外科及び外科器材	29,069		
		43	実施調査	43.12.9～ 43.12.23	4	...	6	5	...	病棟用機材	11,300		
		44						2	25	...	X線テレビ	67,520	
		45						4	① 7	...	医薬品	34,757	
		46						2	④ ⑤ 6	...	医薬品	4,532	
		47	計 打 合 せ	48.3.25～ 48.3.31	(3)	(942)	3	6	19,426		吸引器、医薬品	⑧ 1,061 29,389	
		48						3	—	11,200	医薬品	⑧ 86 22,857	34,123
49								4,418	手術用顕微鏡	14,281	18,699		
50													

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
新チョウライ病院 協定等の種類：R/D 署名年月日：50.3.1 協力期間：50.3.～ 53.3. 国内協力機関： 日本大学医学部	<p>本件プロジェクトは、当初、外務省ベースにて不動産供与（無償協与）を実施し、以後、JICAベースで専門家派遣事業を主体とした協力を実施した。</p> <p>昭和50年3月には、医療協力実施調査団を派遣して具体的協力内容、分野、期間等をR/Dに取決めプロジェクト方式により協力に着手することになった。</p> <p>協力内容は、新チョーライ病院業務の管理運営のための集中管理方式の導入ならびに医療技術のレベルアップのための協力である。</p> <p>しかしながら、その後の現地事情の激変により派遣専門家は総引き上げをするにいたり、本件プロジェクトは事実上、中断した。</p>	48	基礎調査	49.3.14～ 49.3.28	6	3,184					3,184	
		49	実施調査	50.2.23～ 50.3.4	5	1,869	1	14	11,666	⊕ 360		13,895
		50			—	98	1	—	3,495			3,593
難民住宅診療所 協定等の種類：なし	<p>ヴェトナム国における難民政策は、同国の重大な社会問題である。わが国は昭和46年度から難民政策援助に加わり、難民収容住宅を建造するとともに、回診用X線装置、救急車等の医療器材を供与した。</p> <p>本プロジェクトは機材供与のみであり、専門家派遣および研修員受入れの事業協力をしない資金協力的プロジェクトの1つである。</p>	46							回診用X線装置、救急車	17,618	17,618	
		47							医薬品	3,244	3,244	
		48								医薬品	10,479	10,479

プロジェクト名	概要	年度	調査団			専門家		機材供与		経費総額 (千円)
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数 継続 新規	経費 (千円)	主要機材名	
医療協力実施調査 調査期間：41. 6. 4～ 41. 6.24	(カンボディア, ヴィエトナム) アジア一般を参照のこと。	41	実施調査 (第1回)		(2)	(1,108)				(1,108)
		"	実施調査 (第2回)		(2)					
医療協力視察 調査期間：44. 3.13～ 44. 3.20	(インドネシア, ヴィエトナム) アジア一般を参照のこと。	43	視 察	44. 3.13～ 44. 3.20	(4)	(666)				(666)
医療機材管理技術巡回 指導班 調査期間：48. 1.23～ 48. 2.11	(フィリピン, ヴィエトナム) アジア一般を参照のこと。	47	巡回指導	48. 1.23～ 48. 2.11	(4)	(1,827)				(1,827)
医療機材修理班 調査期間：48.12. 2～ 48.12.22	(インドネシア, フィリピン, ヴィエトナム) アジア一般を参照のこと。	48	機材修理	48.12. 2～ 48.12.22	(5)	(1,888)				(1,888)
医療機材修理班 調査期間：49. 9.25～ 49.10.18	(ラオス, フィリピン, ヴィエトナム) アジア一般を参照のこと。	49	機材修理	49. 9.25～ 49.10.18	(4)	(1,894)				(1,894)
臨床検査プロジェクト 巡回指導 調査期間：49.11.12～ 49.11.30	(インドネシア, フィリピン, ヴィエトナム) アジア一般を参照のこと。	49	巡回指導	49.11.12～ 49.11.30	(4)	(888)				(888)
チョウライ病院技術協 力調査 協定等の種類：なし	本件は専門家派遣事業のみを実施する単 発医療協力事業で、昭和54年7月17日 ～同年7月26日まで竹内正山梨医科大学 副長他2名の専門家をチョーライ病院に派 遣した。	54					3	2,079		2,079

ウイエットナム

プロジェクト名	概要	年 度	調査団			専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数 継続 新規	経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
ヴィダン病院 協定等の種類：なし	本件プロジェクトは機材供与事業のみを実施する単発医療協力事業で、昭和47年度にヴィダン病院に対し病院用ベッド、エレベーター等を供与した。	47							病院用ベッド エレベーター	10,879	10,879
チョウライ病院	特別機材供与	53							試薬品	4,954	4,954
チョウライ病院	特別機材供与	56								28,932	28,932

保健医療協力事業（単発）

プロジェクト名	概要	年 度	調査団			専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数 継続 新規	経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
チョウライ病院供与機 材保守		57				23	-	6	3,785	4,059	7,867
		58				44			19		63
外科学		60					-	5	4,028		4,028

保健医療協力事業（特別機材）

プロジェクト名	概要	年 度	調査団			専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数 継続 新規	経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
チョーライ病院		56								28,932	28,932
		58								28,562	28,562



農林業協力事業

グ  
イ  
エ  
ト  
ナ  
ム

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の 種 類	調 査 期 間	人 数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継 続	新 規				
カントー大学農学部協 力 協定等の種類：協定 署名年月日：45.3.7 協力期間：45.3～ 48.3 協定等の種類：協定 (延長) 協力期間：48.3～ 51.3	カントー大学農学部はメコン・デルタの 中心カントー市に基幹産業である農業の発 展に貢献すべく設立されたが、歴史が浅く、 教官、施設教育資機材も不十分であること から、旧南ベトナム政府から同大学農 学部充実強化のための協力要請が行われた。 昭和44年、次の協力内容を取りまとめた 討議議事録を交換し、翌年3月に協定が締 結された。 ① 農学および畜産学の各分野の教授およ びリサーチ・フェローの派遣、並びに必 要な日本人教官の派遣による研究・教育 面の指導援助 ② 将来、同大学の教官となるべくヴィエ トナム人教官要員のわが国での研修 ③ 学部運営に必要な研究・教育資機材の 供与 なおベトナム情勢の急変により、昭 和50年3月から5月にかけて派遣専門家 を帰国させ、本協力をすべて終了した。	44	実施調査	44.11.22～ 44.11.24	5	3,107				2,629	5,736	
		45	巡回指導	46.3.20～ 46.4.9	4	Ⓔ 535 1,948		2	7,518		45,232	55,233
		46				Ⓔ 372	2	4	16,354		48,143	64,869
		47	巡回指導	48.3.7～ 48.3.21	3	Ⓔ 1,094 1,195	6	2	18,446		-	20,735
		48	巡回指導	48.10.2～ 48.10.15	5	Ⓔ 401 2,313	4	4	21,159		Ⓔ 318 35,616	59,807
		49	巡回指導	49.9.10～ 49.9.30 49.11.26～ 49.12.15	6	Ⓔ 173 2,848	5	2	36,904		Ⓔ 609 29,103	69,637
		50				Ⓔ 384	4		7,746			8,130

〔開発調査方式技術協力〕  
開発調査事業

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	東南アジア域内電気通信網整備計画調査	(インドネシア、ラオス、マレーシア、フィリピン、タイ、台湾、ベトナム) アジア一般を参照のこと。	42	投	42.10.7~42.11.11	(6)	(693)
2	ファンラン地区農業開発計画調査	サイゴンの北方約270kmに在るニトワン省ファンラン平野約24,300haをかんがいし、水利の他に砂糖きびの導入を図って国内砂糖供給に供するもの。	46	投	46.9.9~46.10.28	16+(1)	40,208
			"	投	47.3.16~47.3.25	4	
3	水道施設整備計画調査	① 3都市水道施設建設計画調査 サイゴン、ダナン、ロンセンにおける水道施設完備のための現場調査と工事費の概算見積。  ② サイゴン首都圏水道施設整備計画調査 46年度：サイゴン市北部のホクモン地区の地下水賦存量の電気探査実施。 47年度：地下水揚水試験およびサイゴン河流量測定。 1日20万トンの地下水揚水可能との結論を得た。	45	実施調査	46.1.7~46.1.25	7	5,764
			46	報告書説明	46.7.25~46.8.3	3	1,490
			46	実施調査	47.3.23~47.3.31	7	4,684
			47	実施調査	47.4.1~47.5.6	(7)	41,392
			"	実施調査	47.4.30~47.5.6	1	
			"	実施調査	47.12.5~48.3.31	12	
			48	報告書説明	48.9.21~48.9.29	1	6,754
"	報告書説明	49.2.12~49.2.21	1				
4	衛星通信地球局建設計画調査	太平洋上の静止衛星を利用した地球局を建設する計画のためのフィジビリティ調査。	47	実施調査	48.1.10~48.1.30	5	5,546
			48	実施調査		0	308
5	鉄道復旧計画調査	戦争で被害を受けた鉄道の復旧計画でサイゴンとユエの直通運転を目的とし、その第1段階として①サイゴン~ブキャット間(約700km)、ブキャット~ダナン間(約280km)、③ダナン~ユエ間(約100km)にともかく列車の運行を可能にし、次いで第2段階としてサイゴン~ナトラン間(約400km)を70km/hで運行出来るように近代化しようとする計画である。48年度はこの鉄道復旧計画の立案並びに、復旧に要する経費等について現地調査を行った。	48	実施調査	48.10.4~48.11.7	8	8,359
			49	報告書説明	49.9.22~49.9.30	3	1,960
6	カントー大学農学部校舎建設に係わる調査	ベトナム政府の要請に基づき、カントー大学農学部校舎建設のための基本設計に係る大綱をもとめるため、地層、電力事情、ガス供給、排水処理、上下水の水質等を分析及びサイゴン市、カントー市において種々建物及び建設現場の見学、材料会社、工場の調査、現地建設会社等の事情聴取等を行い、ベトナム側のマスタープランを実施するための提言及び概算見積額の算出等について調査した。	49	特	50.1.20~50.2.9	3	8,681
			50	特		0	1,259

ベトナム

海外開発計画調査事業

ヴェトナム	№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
	1	東南アジア鉱工業プロジェクト選定確認調査	(インドネシア、マレーシア、フィリピン、ヴェトナム、パプア・ニューギニア) アジア一般を参照のこと。	49	海	49.10.30~49.11.15	(2)	(585)
	2	カントー火力発電開発計画調査	メコンデルタ地帯の電灯電力拡張のためカントー火力発電を開発するための調査	45	海	45.11.25~45.12.24	8	20,207
	3	技術協力調査	ホンゲイ炭の開発問題に関し、技術協力の可能性を探るとともに、ヴェトナム国に対する技術協力全般について、可能性とその方向を探るために調査を実施した。	53	海	53.10.22~53.11.5	1	641

〔開発協力方式技術協力〕

開発基礎調査

プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
とうもろこし生産開発協力	本調査は、全国農協連のとうもろこし生産開発プロジェクトに対する支援のための調査をはじめ、ヴェトナム国政府の要請のあった南部地域の農業開発協力の基礎的調査を行い、対ヴェトナム農業開発協力の方針に役立てるものである。	51	開発基礎 一次調査	51.7.30~51.8.22	8	7,238

〔開発投融資〕

融資承諾 年月	事業名	事業地	対象事業	貸付条件・承諾額・契約額				貸付実行額		備 考
				金利(%)	返済期間 (内据置年)	承諾額 (百万円)	契約年月	契約額 (百万円)	年 度	
52.3.28	とうもろこし開発試験事業	ハバク省	機械化栽培	2.5	15(5)	1,125				

ブルネイ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態	29~55		56		57		58		59		60		累計	
	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)
研修員	3,054	4	13,783	2	6,103	7	18,494	6	26,491	18	95,213	58	163,138	95
専門家	-	-	-	-	972	1	8,334	4	55,502	10	53,042	6	117,850	21
調査団	-	-	4,832	6	35,666	27	27,715	23	89,462	22	22,636	12	180,311	90
協力隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
機材供与	-	-	-	-	-	-	2,072	-	2,383	-	12,638	-	17,093	-
その他	-	-	765	-	4,626	-	3,774	-	5,883	-	6,792	-	21,840	-
合計	3,054	-	19,380	-	47,367	-	60,389	-	179,721	-	190,321	-	500,232	-

ブルネイ

(2) 形態別・分野別

形態	分野 人数 累計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー		商業・観光		人的資源		保健 医療	社会 福祉	そ の 他	経費 累計 (千円)
		開発 計画	行政	公益 事業	運輸 交通	社会 基盤	通信 放送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業	エ ネ ル ギ ー	商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
研修員	95	1	7		3	6	23	4	4	1			6	2	1		37						163,138
専門家	21	4				6		1		5	2						3						117,850
調査団	90	11	9		26			13		13			16				2						180,311
協力隊																							-
機材供与																							17,093
その他																							21,840
合計																							500,232

2. 事業別実績  
〔一般の技術協力〕  
研修員受入事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
39年度	1							1														915
40 "																						
41 "																						
42 "																						
43 "																						
44 "																						
45 "																						
46 "	(1)		(1)																			300
47 "	1														1							447
48 "																						
49 "																						
50 "																						
51 "																						
52 "																						
53 "																						
54 "																						
55 "	2								2													1,392
56 "	2		1				1															13,785
57 "	7		2		1		4															6,105
58 "	(1)6				(1)		2	2									2					19,824
59 "	13				1	3	6		1	1			1									19,224
60 "	28	1	4		1	3	10	1	1				5	2								45,875
合計	(2)60	1	(1)7		(1)3	6	23	4	4	1			6	2	1		2					107,863

(注) カッコは国際機関研修員で外教である。

専門家派遣事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
57年度	0																					0
58 "	3	3																				7,002
59 "	9	1				3			2							3						42,123
60 "	4					3		1														30,691
合計	16	4				6		1	2							3						79,816

ブルネイ

青年招へい事業

対象者	59年度	60年度	合計
教員・学生	—	10	10
青年指導者	—	10	10
アセアン混成	5	10	15
合計人数	5	30	35
経費(千円)	8,733	54,891	63,624

〔プロジェクト方式技術協力〕

技術協力センター事業

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額 (千円)
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数	経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)		
日本・アセアン科学技術協力	ブルネイ国におけるマテリアル・サイエンス分野の協力について、その具体的内容を検討するためにコンタクト調査団を派遣した。 (アジア一般を参照のこと。)	60	事前調査	60. 8. 4～ 60. 8. 13	(7)	—	—	—	—	—	—	

農林業協力事業

ブルネイ

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数	経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)		
林業研究計画 Forestry Research Project 協定等の種類：R/D 署名年月日：60.10.1 協力期間： （当初）60.10.1～ 65.9.30 相手国機関 開発省森林局 国内協力機関 農林水産省林野庁	ブルネイは面積57万ha、人口約20万人の小国であるが、産油国であり、石油・LNGの多くを日本に輸出している豊かな国である。しかし、将来石油資源の減少を見越して林業研究をあらかじめ進めておくため、自力で建設中の林業研究所に対するプロジェクト方式技術協力を要請してきた。同国は熱帯降雨林の原生林がよく保存されており林業研究のフィールドとして申し分なくローカルコストも心配なく、専門家の生活環境等も整っている等、良好な条件にある。  このため昭和58年度に事前調査団を派遣、更に2名の長期調査員を派遣し、プロジェクト方式技術協力の方向について検討を行った。昭和59年には実施協議チームが派遣されR/Dの詳細について協議を行った。これに基づき昭和60年10月1日より5年間の予定で協力が始まることとなり、直ちに、3名の長期専門家の派遣を行った。  5カ年間を第一フェイズ（2年）と第二フェイズ（3年）とに分けて、第一フェイズでは次の内容を目的とするプロジェクト協力をを行う。①造林、木材利用及び森林管理に関する長期国家林業計画の立案、②	58	事前調査	58.6.21～ 58.7.1	3	2,397	0	1	3,404		5,801	
		59	同上 報告書作成			4	5,017	1	1	14,998	⑧ 764	20,779
		60	実施協議	60.3.14～ 60.3.23								
		60	計画打合	61.3.18～ 61.4.16	6	5,224	1	2	23,464	車輛、視聴覚機器、実験用資機材他 ⑧ 842 10,683	40,213	

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)								
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		主要機材名	経費 (千円)									
							継続	新規											
	適切な林業研究組織の確立、③林業研究者及び技術者の養成。																		
	<p>[カウンターパート受入実績]</p> <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>58</td> <td>59</td> <td>60</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </table>	年度	58	59	60	61	人数	0	1	0	1								
年度	58	59	60	61															
人数	0	1	0	1															

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
1	経済開発計画(予備調査)	ブルネイ政府の要請に基づき、先に派遣した経済技術協力ミッションの成果を踏まえ、技術協力システムを説明するとともに、実施にかかわる諸問題につき協議した。特に、同国の経済開発計画策定につき必要なアドバイスをするとともに、本件にかかわる今後の協力の方向性につき意見交換を行った。	58	基礎調査	58. 7. 31~58. 8. 8	3	2,385
2	経済技術協力調査	独立を控えたブルネイ国に対する初めての日本政府経済技術協力ミッションで、同国の開発に寄与するため、日本の政府開発援助システムを説明するとともに、要請に基づき優良案件の発掘を行った。	57	事前調査	58. 3. 23~58. 3. 29	9	2,860
			58	"	(報告書作成)	0	70
3	公共交通網計画	ブルネイ国のバス交通を中心とした公共交通網整備のマスタープラン作成調査のため、昭和58年度は、事前調査団を派遣し、交通の現況等について情報資料を収集した。	58	事前調査	58. 9. 28~58. 10. 7	5	5,947
			"	"	59. 3. 24~59. 3. 31	3	
		昭和59年度は、現地調査を実施し、昭和60年度に最終報告書を提出した。	59	実施調査	59. 8. 6~59. 10. 13	13	
			"	"	60. 2. 15~60. 2. 23	5	



ブル  
ネ  
イ

No	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
			60	実施調査	(報告書作成)	0	5,270
4	印刷局改善計画	ブルネイ国印刷局は同国の独立を控え関係各局からの印刷要請が増大し、対応しきれない状況にある。  この状況を改善するため昭和58年9月に調査団を現地に派遣し印刷局の改善案を報告書に取りまとめ、昭和59年2月にブルネイ政府に提出した。	58	実施調査	58. 9.24~58.10. 7	7	14,688
			"	"	59. 3.10~59. 3.16	3	

海外開発計画調査事業

No	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	セメント工場建設計画	ブルネイにおけるセメントの需給動向を検討の上、輸入クリンカー(半製品)を原料としたセメント生産工場を建設する計画に係る企業化可能性調査を実施した。  57年度に、①要請の背景、内容等の具体的把握、②関連サイトの実情把握、③関連情報の収集、④本格調査に係るS/Wの協議等の事前調査を行うとともに、引続いて現地作業、国内解析作業、ドラフト説明を行い最終報告書を作成した。	57	海(事前)	57. 6.14~57. 6.23	4	4,700
			"	海	57.10. 3~57.10.17	4	12,477
			"	海(報告)	58. 1.23~58. 2. 1	2	
2	アジア諸国鉱工業プロジェクト選定確認調査	(フィリピン、ブルネイ) アジア一般参照のこと。	57	海	58. 3.23~58. 3.29	(5)	(1,508)
3	セメント工場建設計画(フェーズII)	昭和57年に当事業団が取りまとめ、可能との結論を得たセメント工場建設計画のうち、ケースNo1のクリンカー工場に対し、レビューを行うとともに、入札に必要とされる準備作業を行うのが目的である。  60年度は、昭和60年7月に事前調査を実施したが、ブルネイ側の事情によりS/Wの署名に至らなかった。	57	海(事前)	60. 7. 7~60. 7.19	4	10,000

〔開発協力方式技術協力〕

開発基礎調査

プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
森林造成協力	<p>本調査は、ブルネイにおける森林状況を調査し、森林造成の可能性および技術的事項を検討することを目的とするものである。</p> <p>昭和56年度は、同地域における森林および造林地を実査し、植生、土壌、地形等をもあわせて調査した。</p> <p>昭和57年度は、基礎二次調査団の結果を踏まえ、土壌・植生等自然条件の調査、造林予定地及び苗畑予定地の選定、試験造林計画、育苗計画、林道網施設、試験項目の検討、事業費の計算等、試験事業の詳細計画を策定することを目的として、植生・土壌・地形・測量等の詳細調査を行った。また、試験造林事業に必要な試験設計を含む開発事業計画の策定を行った。</p>	56	基礎二次調査	57.3.25~57.4.9	6	4,703
		57	開発計画調査	57.11.21~57.12.11	7	14,121
		58	〃	(報告書作成)	0	716

ブルネイ

開発協力技術指導

その1 専門家派遣

プロジェクト名	年 度	人 数	派 遣 期 間	経費実績(千円)	技 術 指 導 内 容
造 林	57	1	58.2.28 ~ 58.3.29	972	

香 港

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態	29~55		56		57		58		59		60		累 計	
	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)
研 修 員	76,782	56	32,192	21	32,543	23	42,420	26	87,494	39	43,384	34	314,815	199
専 門 家	971		-		-		-		-		-		971	
調 査 団	-		668		-		-		1,590		1,262		3,520	
協 力 隊	-		-		-		-		-		-		-	
機 材 供 与	-		-		-		-		-		-		-	
そ の 他	-		-		-		-		-		-		-	
合 計	77,753		32,860		32,543		42,420		89,084		44,646		319,306	

(2) 形態別・分野別

形態	分 野 人 数 計 (人)	計 画 ・ 行 政		公 共 ・ 公 益 事 業				農 林 ・ 水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商 業 ・ 観 光		人 的 資 源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
研 修 員	199		106		28	5		3	2	1			32		1		1		4	16		314,815
専 門 家																						971
調 査 団																						3,520
協 力 隊																						-
機 材 供 与																						-
そ の 他																						-
合 計																						319,306

2 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
33年度	(1)																				(1)	
34 "																						
35 "	(1)														(1)							
36 "	3							3														
37 "																						
38 "																						
39 "																						
40 "																						
41 "																						
42 "	(1)																		(1)			
43 "	1									1												
44 "	(1)																(1)					
45 "	(3)		(1)												(2)							409
46 "	(3)		(3)																			630
47 "	(3) 1		(3)												1							1,197
48 "	(3) 3		(2) 3																		(1)	
49 "	(4)		(4)																			1,028
50 "	(1) 5		3										2				(1)					7,868
51 "	5		3		1								1									5,193
52 "	5		5																			6,306
53 "	8		5		3																	13,803
54 "	(4) 9		6		2					1								(1)	(3)			12,160
55 "	(4) 16		8		3	1		(4)					2				1			1		28,188
56 "	(1) 21		7		4								8						1	(1) 1		32,860

香港

香  
港

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林・水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費  (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
57年度	(2)23		8		4							6							(2) 1	3		32,543
58 "	(2)26		10		(1) 6	1						5							1	(1) 3		42,420
59 "	39		26		3	2						5								3		89,084
60 "	(1)34		(1)22		2	1						3							1	5		43,384
合 計	(35)199		106		(1)28	5		(4) 3	2	1		32		(3) 1		(2) 1		(4) 4	(5)16	(2)		317,073

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

〔 開発協力方式技術協力 〕

投融資審査等調査

プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
アジア投融資審査等調査	( マレーシア, シンガポール, 香港 ) 投融資制度の説明と案件の発掘を行った。	60	投 融 資 審 査 等 調 査	61. 4. 7~61. 4. 19	(5)	(1,262)

アジア一般

〔プロジェクト方式技術協力〕

技術協力センター事業

プロジェクト名	概要	年度	調査団			専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数 継続 新規	経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
フィリピン、シンガポール、エバリュエーション調査 調査期間：	フィリピン家内小規模工業技術開発センターおよび、シンガポール原型生産訓練センターに対するエバリュエーション調査。	47	エバリュエーション		2	574					574
インドネシア、マレーシア巡回指導 調査期間：49.9.17～ 49.10.6	インドネシア・スラウェシ工業職業訓練センター、マレーシアMARA職業訓練校、マレーシア船舶機関士養成計画の3センターに対する巡回指導。	49	巡回指導	49.9.17～ 49.10.6	3	1,199					1,199
マレーシア、タイ巡回指導 調査期間：50.5.11～ 50.5.24	マレーシア船舶機関士養成計画、およびタイ・スラタニ道路建設技術訓練センターに対する巡回指導。	50	巡回指導	50.5.11～ 50.5.24	3	1,373					1,373
韓国大田職業訓練院、ケニアNYS上級技術訓練センター機材修理 調査期間：53.10.30～ 53.11.20	韓国大田職業訓練院、ケニアNYS上級技術訓練センターの2プロジェクトに対する供与済み機材の稼動状況調査、保守・管理指導、ならびに補修を実施した。	53	機材修理	53.10.30～ 53.11.20	2+(1)	4,550					4,550
フィリピン、マレーシア、シンガポール、タイ、東南アジア巡回指導 調査期間：54.11.7～ 54.12.1	1. フィリピン道路交通訓練センターのR/D履行状況調査にもとづき、フィリピン側関係者および日本人専門家に対し、指導・助言を行うとともに本プロジェクトの将来構想についてフィリピン側の要望を聞いた。 2. マレーシア、シンガポール、タイの各職業訓練センターに係る運営状況の実態把握および業務指導を行った。	54	巡回指導	54.11.7～ 54.12.1	6	3,436					3,436

アジア一般

アジア一般

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継 続	新 規				
シンガポール、マレーシア、スリランカコンピュータ技術訓練センター	シンガポール、マレーシア、スリランカ国は、経済とりわけ工業的自立を旨としており、特にシンガポール、マレーシア両国においては、従来の労働集約産業と同時に資本集約産業への移行を工業化戦略の一環として開始している。  開発途上国においては、特に経済発展に伴うコンピューター導入には目ざましいものがあるが、オペレーター、プログラマー、システムエンジニア等の専門技術者は極端に不足しており、これら中堅技術者の養成、訓練は急務となっているのが現状である。わが国は、この分野での効果的技術協力に資するため、基礎データの収集を目的として、昭和59年2月基礎調査を実施した。	58	基礎調査	59. 3. 26 ~ 59. 4. 8	2	1,786					1,786	
		59	〃	(報告書作成)	-	1,170						1,170
日本・アセアン科学技術協力	日・アセアン科学技術協力は、昭和58年5月中曽根総理がアセアン諸国歴訪の際提唱した構想に基づくもので、その後、58年12月の東京における日・アセアン科学技術関係閣僚会議、59年12月の高級事務レベル会合での議論等を経て60年5月に協力の内容を以下の様に決定した。  協力分野は、 1) バイオテクノロジー 2) マイクロエレクトロニクス 3) マテリアルサイエンス の3分野とし、このうち1)と2)は研修員	60	事前調査	60. 8. 4 ~ 60. 8. 13	7	シンガポール ブルネイ	-	5	シンガポール のみ 4,678			
		〃	〃	60. 8. 13 ~ 60. 8. 18	4	インドネシア	-	2				
		〃	〃	60. 8. 18 ~ 60. 8. 22	4	マレーシア	-	-				
		〃	〃	60. 8. 18 ~ 60. 8. 25	4	フィリピン タイ	-	2				
											22,091	

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
	<p>の受入と専門家の派遣を実施する。3)については、技職協力センター事業としてプロジェクト方式技術協力をを行う。 (インドネシア、マレーシア、フィリピンを参照のこと。)</p>											

アジア一般



保健医療協力事業

アジア一  
般

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団			専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数	経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
カンボディア、ヴィエ トナム医療協力実施調 査 調査期間：41. 6. 4～ 41. 6. 24	○カンボディア・モンコルボレー医療セン ターの病棟，検査室増築に関する実施調査。 ○ヴィエトナム・チョーライ病院脳神経外 科病棟建築に関する実施調査。	41	実施調査 (第1回)	41. 6. 4～ 41. 6. 24	2	} 2,215				2,215	
			実施調査 (第2回)		2						
カンボディア、フィリ ピン医療協力視察 調査期間：44. 3. 19～ 44. 3. 26	カンボディア国およびフィリピン国に対 するわが国の医療協力の実情を視察し，同 時に両国の関係者と今後の医療協力を打合 せた。(対象プロジェクト：カンボディア ・医療センターおよびフィリピン・ポリオ 対策，コレラ対策)	43	視 察	44. 3. 19～ 44. 3. 26	3	959				959	
インドネシア、ヴィエ トナム医療協力視察 調査期間：44. 3. 13～ 44. 3. 20	インドネシア国およびヴィエトナム国の 医療事情を調査すると同時に，インドネシ ア西ジャワ中央総合病院，パジャジャラン 大学歯学部，ヴィエトナム・チョーライ病 院，サイゴン病院の4プロジェクトの現状 および世界各国の協力の実態を調査した。	43	視 察	44. 3. 13～ 44. 3. 20	4	1,331				1,331	
フィリピン、ヴィエト ナム医療機材管理技術 巡回指導班 調査期間：48. 1. 23～ 48. 2. 11	フィリピン局の検疫局，サン・ラサロ病 院，ウイルス研究センター，ヴィエトナム 国のサイゴン病院，チョーライ病院を巡回 し，既供与済機材の修理・保守業務を行っ た。	47	巡回指導	48. 1. 23～ 48. 2. 11	4	3,654				3,654	
ビルマ，タイ医療機材 管理技術巡回指導班 調査期間：48. 3. 15～	ビルマ国の医学研究所，タイ国の国立が んセンター，ウイルスセンター，マヒド ー大学，ラマチボディ病院を巡回し，既供	47	巡回指導	48. 3. 15～ 48. 4. 6	4	4,685				4,685	

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
							継続	新規				
48. 4. 6	与済機材の修理、保守業務を行った。											
スリ・ランカ、タイ医療機材修理班 48.11.24~ 48.12.13	スリ・ランカ国の中央総合病院、薬品検査試験所、タイ国のウイルスセンター、国立がんセンター、ラマチボディ病院を巡回し、既供与済機材の修理・保守業務を行った。	48	機材修理	48.11.24~ 48.12.13	7	7,451						7,451
インドネシア、フィリピン、ヴェトナム医療機材修理班 48.12. 2~ 48.12.22	インドネシア国のパーサハバダン病院、インドネシア大学医学部中央病院、西ジャワ中央総合病院、フィリピン国のサン・ラサロ病院、ワクチン研究所、ヴェトナム国のサイゴン病院、チョーライ病院を巡回し、既供与済機材の修理・保守業務を行った。	48	機材修理	48.12. 2~ 48.12.22	5	5,665						5,665
インド、スリ・ランカタイ巡回指導 49. 1.17~ 49. 2. 5	ウイルス学および電子顕微鏡学のプロジェクトに焦点を据え、インド国・救らいセンター、スリ・ランカ国・スリ・ランカ大学医学部、タイ国・ウイルスセンターを巡回し、在任中の日本人専門家およびカウンターパートに対しアドバイスを行い、プロジェクトの効率を図った。	48	巡回指導	49.1.17~ 49.2.5	4	2,860						2,860
ラオス、タイ（大学教授） 派遣期間：48.10.19~ 48.11. 8	業務調査のための専門家1名、タゴン医療センター他に派遣	48						⊕1	625			625
インドネシア、フィリピン、ヴェトナム臨床	臨床検査部門を内容とする医療協力プロジェクトのうち、東南アジア地域のインド	49	巡回指導	49.11.12~ 49.11.30	4	2,664						2,664

アジア一般

アジア一般

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数 継続 新規	経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)		
床検査プロジェクト巡回指導 調査期間：49.11.12～ 49.11.30	ネシア・ジャカルタ中央病院、フィリピン・コレラ対策、ポリオ対策、ヴェトナム・サイゴン病院の3プロジェクトを巡回し、派遣専門家ならびにカウンターパートに対してブラッシュアップを行った。											
フィリピン、タイ (大学教授) 派遣期間：49.9.24～ 49.10.6	神経病学専門家1名派遣	49						Ⓐ1	525		525	
ビルマ、スリ・ランカ、タイ医療機材修理班 調査期間：49.10.8～ 49.11.10	ビルマ国の国立歯科大学、ビルマ医学研究所、スリ・ランカ国の薬品検査試験所、タイ国のラマチボディ医科大学、薬品研究所、ウイルスセンター、がんセンターを巡回し、既供与済機材の修理・保守業務を行った。	49	機材修理	49.10.8～ 49.11.10	7	10,728					10,728	
ラオス、フィリピン、ヴェトナム医療機材修理班 調査期間：49.9.25～ 49.10.18	ラオス国のタゴン医療センター、フィリピン国のサン・ラサロ病院、公衆衛生試験所、ヴェトナム国のチャーライ病院、サイゴン病院を巡回し、既供与済機材の修理、保守業務を行った。	49	機材修理	49.9.25～ 49.10.18	4	5,682					5,682	
インドネシア、フィリピン(大学教授) 調査期間：51.2.12～ 51.3.16	心臓外科専門家3名派遣	50						Ⓐ3	2,230	Ⓑ	252	2,482
ビルマ、タイ医療機材修理班	ビルマ国の国立歯科大学、ビルマ医学研究所、タイ国の国立がんセンター、薬品研	50	機材修理	51.3.31～ 51.4.21	6	11,203						11,203

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
							継続	新規				
調査期間：51. 3.31～ 51. 4.21	研究所、ウイルス研究所、ラマチボディ医科 大学を巡回し、既供与済機材の修理、保守 業務を行った。											
インドネシア、フィリ ピン医療機材修理班 調査期間：51. 3.30～ 51. 4.16	インドネシア国の西部ジャワ中央総合病 院、ジャカルタ中央病院臨床検査部門およ び心臓外科部門、パーサハバダン病院胸部 外科部門、フィリピン国のコレラ対策、ポ リオ対策、住血吸虫症研究対策の7プロジ ェクトを巡回し、既供与済機材の修理、保 守業務を行った。	50	機材修理	51. 3.30～ 51. 4.16	5	4,645						4,645
インドネシア、フィリ ピン医療協力事前調査 調査期間：51.12. 6～ 51.12.23	インドネシア、フィリピン両国の総合保 健計画の一環として目を向けてきている地 方レベルの保健医療向上について、プロジ ェクトとして取り上げる可能性についての 調査を実施した。	51 52	事前調査 (同上52年 度支出分)	51.12. 6～ 51.12.23	5	4,153 248						4,153 248
インドネシア、フィリ ピン医療機材修理班 調査期間：51.12. 6～ 51.12.23	インドネシア国のパーサハバダン病院、 ジャカルタ中央病院、中央生物学医学研究所、 フィリピン国のコレラ対策の4プロジ ェクトを巡回し、既供与済機材の修理、保守業 務を行った。	51	機材修理	51.12. 6～ 51.12.23	3	5,319						5,319
スリ・ランカ、タイ医 療機材修理班 調査期間：52. 3.15～ 52. 4. 7	スリ・ランカ国の薬品検査試験所、タイ 国のがんセンターの2プロジェクトを巡回 し、既供与済機材の修理、保守業務を行っ た。	51 52	機材修理 (同上52年 度支出分)	52. 3.15～ 52. 4. 7	7+(1)	11,150 638						11,150 638
インドネシア、マレイ シア、タイ医療協力専 門家チーム	インドネシア、マレーシア、タイの各国 において、わが国の今後の医療協力の方向 についての検討を行った。	52						6	5,510	⑧	16	5,526

アジア一  
般

アジア一般

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家			機材供与		経費総額 (千円)
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)	
							継続	新規				
インドネシア、フィリピン機材管理指導チーム 調査期間：52. 8.16～ 52. 8.31	インドネシアの中央生物学医学研究所、プルサハバタン病院、ジャカルタ中央病院、およびフィリピンのコレラ対策プロジェクト、住血吸虫症研究対策プロジェクトを巡回し、既供与済機材の修理、管理指導を行った。	52	機材修理	52.8.16～ 52.8.31	4	3,572						3,572
インドネシア、フィリピン機材修理チーム 調査期間：53. 1.10～ 53. 1.30	インドネシアのプルサハバタン病院、ジャカルタ中央病院、中央生物学医学研究所およびフィリピンの住血吸虫症研究対策ならびにコレラ対策関係機関を巡回し、供与済機材の修理を行った。	52	機材修理	53.1.10～ 53.1.30	5	7,938						7,938
インド、タイ医療機材修理班 調査期間：53. 1.15～ 53. 2. 9	タイのがんセンター、ラマナボディ病院、薬品研究所、ウイルス研究所およびインドのジャルマセンターを巡回し、供与済機材の修理を行った。	52	機材修理	53.1.15～ 53.2.9	6	8,499						8,499
インドネシア、タイ事前調査 調査期間：52. 7.12～ 52. 7.22	インドネシア、タイ両国の公衆衛生分野、とくに看護婦養成に関するわが国の協力の可能性を調査した。	52	事前調査	52.7.12～ 52.7.22	5	3,634						3,634
インド、タイ機材据付指導（単発）		55						2	1,527			1,527

人口家族計画協力事業

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数 継続 新規	経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)	
フィリピン、タイ家族 計画実施調査 調査期間：49.7.8～ 49.7.26	昭和48年度に派遣された基礎調査団の 調査報告にもとづき、協力の実施に必要な 計画の打合せを行うとともに、家族計画の 啓蒙・教育の普及活動に重点をおき、5年 間を協力期間とすること等を盛り込みR/ Dを取り決めた。	49	実施調査	49.7.8～ 49.7.26	4	2,244					2,244
タイ、フィリピン家族 計画エバリュエーショ ン調査 調査期間：52.8.31～ 52.9.15	タイ、フィリピン両国における家族計画 プロジェクトに対するわが国の協力の効果 測定を行うとともに、今後のわが国の同プ ロジェクトに対する協力方針策定に資する ための調査を行った。	52	エバリュエ ーション	52.8.31～ 52.9.15	3	2,264					2,264
フィリピン、タイ家族 計画巡回指導 調査期間：53.11.29～ 53.12.17	フィリピン、タイの家族計画プロジェク トの54年度以降の協力方針につき相手国 政府と協議を行い、現行討議議事録による 協力期間をタイは1年間、フィリピンは2 年間延長し、両国ともモデルエリアを設定 することになった。	53	巡回指導	53.11.29～ 53.12.17	3	2,492					2,492

アジア一般

農林業協力事業

アジア一般

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
インド、タイ農業開発 協力指導調査 調査期間：45.1.12～ 45.1.26	わが国の農業協力のあり方を確定するための問題点を根本的に検討し、基本路線の展望を得るための作業を進めてきたが問題を現地に移して討議のポイントをレビューするため昭和45年1月12日から15日間にわたって、インド、タイに本調査団を派遣した。 本調査団は、わが国の農業技術協力および各国の協力の現状を調査し、わが国の農業協力のあり方について所見を明らかにした。	44		45.1.12～ 45.1.26	5	3,040					3,040	
ラオス、スリ・ランカ 巡回指導調査 調査期間：46.3.14～ 46.4.3	ラオス・タゴン地区協力およびスリ・ランカ・デワフワ村落開発協力の2プロジェクトにかかる巡回指導。 1. ラオス・タゴン地区協力は、昭和45年4月、日本・ラオス両国政府間で締結された協定にもとづいて実施されている。昭和45年5月には本地区へのADBからの融資が決定され、45年度早々に着工される予定であったところ、着工が昭和46年10月と予想されるに至ったため、着工予定時期の遅延に伴う今後の工程調整をラオス政府関係者と行い、早期に専門家と資機材の効用が発揮されるよう今後の処理方法を検討する必要があった。 2. スリ・ランカ・デワフワ村落開発協力	45	巡回指導	46.3.14～ 46.4.3	4	2,141					2,141	

プロジェクト名	概要	年度	調査別				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
	は昭和45年10月、日本、スリ・ランカ両国政府間で締結された協定に基づいて実施されている。本計画は800エーカーの農業の基盤整備を基本とした村落の総合開発を目的としたものである。しかし、昭和45年5月のセイロン政府の政変によって必ずしも当初計画通り推進されておらず、今後の村落開発計画の実施方法など、両国政府関係者によって検討する必要があった。											
インドネシア、ラオス、フィリピン、タイ、東南アジアかんがい計画基準作成調査	近年の農業開発事業の質、量の増大に伴い、事業の円滑なる実施のうえから技術の画一化、基準化が強く要望されていることにかんがみ、東南アジアにおいて実施される農業開発計画のうち、かんがい排水技術に焦点をあて、 1. フィリピン、タイ、ラオス、インドネシア各国の関係機関 2. 上記各国に派遣されているわが国のかんがい専門家 3. FAO、ADB等国際機関からの調査の結果、(イ)聞きとり調査では、かんがい計画作成に必要な地図の所在、水文資料の内容、計画作成の手順等、調査表を準備し記入整理した。(ロ)資料収集では、各国から、かんがい計画樹立に係る資料を収集し、リストを作成した。	48	基礎調査	8	8,159					8,159		

アジア一般



アジア一般

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数	経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
						継 続	新 規				
インド、ネパール農業 普及巡回指導 調査期間：50.3.17～ 50.4.6	インド・ダングカラニア農業開発協力 プロジェクト及びネパール農業開発プロジェ クトに対する指導。	49	巡回指導	50.3.17～ 50.4.6	4	2,680					} 2,869
			〃				Ⓔ 189				
ラオス、マレーシア農 業機械巡回指導 調査期間：50.3.17～ 50.4.2	マレーシア農業機械化訓練センター協力 及びラオス農業開発協力についての指導。	49	巡回指導	50.3.17～ 50.4.2	5	2,743					} 2,817
			〃				Ⓔ 74				
インドネシア、タイ、 東南アジア地域農業協 力プロジェクトファイ ンディング調査 調査期間：49.12.8～ 49.12.27	インドネシアにおける今後の農業技術協 力プロジェクトを発掘するため、インドネ シア側政府関係者と意見交換するとともに、 とくに、スマトラ島ランポン州およびスラ ウェシ州の現地踏査を行うことを目的とし て本調査を実施した。  なお、当初は、タイも同様の調査を実施 することとしていたが、諸般の事情により タイは3日間バンコックでの意見交換にと どまった。	49	事前調査	49.12.8～ 49.12.27	5	3,317					} 3,395
			〃				Ⓔ 78				
インドネシア、タイ (西ドイツ、デンマー ク)農業開発協力実態 調査 調査期間：50.3.10～ 50.4.10	わが国の開発途上国に対する農業技術協 力事業の円滑、かつ効果的な実施に資する ため、先進諸国による農業技術協力の実態 を本国政府関係機関および現地プロジェク トについて調査した。本調査は西ドイツ、 デンマークの両国を対象に調査を行ったが、 西ドイツでは経済協力省、ドイツ技術援助 会社(GTZ)、ドイツ国際開発財団(D SE)の3機関、デンマークでは、外務省	49	基礎調査	50.3.10～ 50.4.10	5	5,905					} 6,121
			〃				Ⓔ 216				

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
							継続	新規				
	国際開発庁をそれぞれ訪問、意見交換を行った。また、現地プロジェクトについては、両国がタイ及びインドネシアにおいて実施中の農林業プロジェクト3カ所を訪問、調査した。											
インドネシア、フィリピン、タイ専門家現地研修機関開拓調査 調査期間：49.12.8～49.12.23 (16)	開発途上国等に対するわが国の農林業開発技術協力事業を拡充強化するためには、当該事業に従事する専門家の養成確保が不可欠であり、特に協力事業を実施する現地において農業および社会経済的背景を把握しておくことが重要である。このため、派遣専門家を事前に海外で研修を行うに際し、これの受入れの可能性と条件を検討することを目的として本調査は実施された。	49	基礎調査	49.12.8～49.12.23	3	1,886						1,886
パキスタン、マレーシア、インド、スリ・ランカ農業水利計画基準作成調査 調査期間： ① 49.8.18～49.9.11 (パキスタン、マレーシア班) ② 49.8.18～49.9.15 (インド、スリ・ランカ班)	東南アジア地域を中心として実施してきた農業協力事業が他地域へ拡大し、かつ内容が多様化している事態に対処して、事業の実施に当たって実施基準の画一化、現地技術者の系統的な研修のための教材の必要が強く要望されるに至っている。 このような事情のもとで、開発途上国の農業開発に適用性が広く、必要性も大きい。 かんがい排水事業に焦点をあて、事業計画作成上の規格化をすすめるために、各国の計画基準、国際機関の融資基準、マニュアル等の調査検討、現地における諸施設の実態調査、データの収集を行うため、本調査	49	基礎調査	49.8.18～49.9.15	8	9,247						9,247
		50				750						750

アジア一般

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数 継続 新規	経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)	
	が実施された。										
インドネシア、マレーシア、フィリピン、インド、タイ開発途上国農業機械化計画基準作成調査 調査期間：50.10.27～50.11.17	主として、アジアの水稲作地帯を中心に農業機械化に関する技術的、経済的問題を明らかにし、機械化作業体系、技術体系等のほか、当事業団の農業協力事業にかかる機材供与の改善方策についても検討し、これらを農業機械化計画基準としてとりまとめ、派遣専門家及び調査団に提供し、農業協力事業の効果の実施に資するものである。	50	基礎調査	50.10.27～ 50.11.17	10	16,619					16,619
インドネシア、ネパール農業土木巡回指導 調査期間：50.9.1～50.9.21	ネパール・ジャナカプール農業開発およびインドネシア・ランボン農業開発の2プロジェクトについての次の事項についての指導。 (1) ネパール・ジャナカプール農業開発：協定にいう小計画の一つである「420 haの水田における井戸かんがい方式の導入の形をとる農業インフラストラクチャーの改良と末端水管理作業の改良を含む農業技術の指導」について計画8本中3本の井戸を掘削したが、井戸の自噴水量が予想の2分の1程度であるので、この対策について検討する。 (2) インドネシア・ランボン農業開発 稲作振興計画の核としてランボン州のトトカトン地域に100 haの大規模デモンストレーションファームを建設中であるが、石油危機等を契機に諸資材の高騰が	50	巡回指導	50.9.1～ 50.9.21	4	3,331					3,331

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
	あり、わが国が設計した事業費を大巾に上回る見込みであるため、現地に適応した圃場整備事業について再検討をする。											
インド、ネパール、フィリピン農業栽培巡回指導 調査期間：50.7.10～50.7.30	農業協力プロジェクトのうち稲作栽培の分野を含む特定のプロジェクトにつき、栽培分野に関する専門家チームを派遣し、同分野に対する指導・助言を行い、対象地域農家に対する近代的稲作技術の普及定着に寄与せしめる。	50	巡回指導	50.7.10～50.7.30	4	3,155					3,155	
バングラデシュ、タイ農業協力プロジェクト施設整備巡回指導 51.12.2～51.12.22	バングラデシュ園芸研究、バングラデシュ中央農業普及開発研究計画（GERDI）およびタイかんがい農業開発にかかる施設整備計画について調査助言を行うとともにそれぞれのプロジェクトに関連する無償供与の対象として適切と考えられる案件のとりまとめを行う。	51	巡回指導	51.12.2～51.12.22	4	2,762					2,762	
インドネシア、ネパール農業協力プロジェクト施設整備巡回指導 調査期間：51.9.18～51.10.8	ネパール・ジャナカプール地区農業開発、インドネシア・ランボン農業開発ならびにインドネシア農業研究協力の3プロジェクトにかかる施設整備計画についての調査、助言を行い、とりまとめをするものである。	51	巡回指導	51.9.18～51.10.8	5	4,412					4,412	
インドネシア、韓国研究協力分野巡回指導 調査期間：51.12.3～51.12.23	インドネシア、農業研究協力、および韓国農業研究協力の2プロジェクトを対象に次の作業を行った。 1. プロジェクトの当面する技術的、運営的問題のチェックおよび解決へのアドバイス。	51	巡回指導	51.12.3～51.12.23	4	3,342					3,342	

アジア一般

アジア一般

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
	2. 研究プロジェクトの方式、形態に対する標準のないし一般的法則の形成を目標とする資料収集および検討。 3. 韓国小麦研究所に対する研究機器無償供与の検討。 4. インドネシア中央農業研究所に対する新協力実施の予備的検討。											
ビルマ、ラオス、アジア地域畜産開発プロジェクトファインディング調査 調査期間：51.11.29～51.12.20	アジア地域における畜産業は近代的経営の未発達、家畜衛生の未整備、研究の立遅れから畜産振興の可能性が高いにもかかわらず、開発が進んでいない現状にある。 今回、ビルマおよびラオスからの協力要請にもとづき、ビルマに対しては肉牛開発、養鶏、養豚の分野、ラオスに対しては牛疫撲滅を中心とした家畜衛生の分野における技術協力の可能性について調査を行った。	51	事前調査	51.11.29～51.12.20	5	4,706					5,126	
			〃				420					
インド、マレーシア、スリ・ランカ、バングラデシュ、ネパール、タイ農業普及協力計画基準作成調査 調査期間：51.10.26～51.11.23	開発途上国における農業普及協力事業にかかる諸問題を明らかにして、これらの諸国に派遣される普及専門家、調査団の現地活動を一層効果的にするため、アジア諸国の小農経営を対象に、実情に即した「開発途上国に対する農業普及協力の手引」を作成することを目的とする。なお、現地調査の対象国は2班編成とし、第1班はインド、マレーシア、スリ・ランカ、第2班はバングラデシュ、ネパール、タイの6カ国である。	51	基礎調査	51.10.26～51.11.23	8	17,084					17,084	

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団			専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数	経 費 (千円)	主要機材名	
ビルマ、マレーシア東南アジア林業協力事前調査 調査期間：51.12.7～51.12.22	東南アジア地域のうち、マレーシアおよびビルマを対象として両国から要請のあった林産加工、林業機械、流域管理等、林業分野における技術協力を実施する可能性を検討するための事前調査。	51	事前調査	51.12.7～51.12.22	5	3,186				3,186
インド、マレーシア、(カナダ)先進国農業協力実態調査 調査期間：52.4.8～52.5.1	開発途上国に対する農業協力事業の効率的推進に資するため、先進国カナダがインドおよびマレーシアで実施している農業協力の実態、問題点を現地において調査するとともに、これらの実施にあたっての計画運営の実情を先進国の実施機関等において調査し、わが国の農業協力プロジェクトの参考になるような技術協力の共通の問題点を協議し、相互の経験および意見を交換した。	51	基礎調査	52.4.8～52.5.1	5	6,562				6,562
タイ、マレーシア技術協力調査 調査期間：52.6.22～52.6.29	タイ、マレーシア両国に対するわが国の形態別技術協力を効率的、効果的に実施するため、現状と問題および今後の進め方等に関する調査、併せて、昭和52年に実施するプロジェクトの選定確認を行った。	52	事前調査	52.6.22～52.6.29	3+2(2)	1,517				1,517
インドネシア、フィリピン、タイ農業普及協力計画基準作成調査 52.11.21～52.12.3	開発途上国における農業普及活動の実態および問題点を把握して改善の方向に役立てるために、51年度「普及手引」の各国編を作成した。52年度は引き続き普及計画基準の総論編（普及協力の手引きになるもの）をまとめるため、インドネシア、フィリピン、タイの3カ国の現地調査を実施	52	基礎調査	52.11.21～52.12.3	8	16,910				16,910
		53	(同上53年度支出分)			5,050				5,050

アジア一般

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
	し、前年度の各国編を踏まえて国内作業を併せて行い、内容の充実を図った。											
バングラデシュ農業普及、ネパール農業開発機材維持管理巡回指導 調査期間：52.11.21～52.12.25	バングラデシュ農業普及プロジェクトは、昭和48年4月、ネパール・ジャナカプール農業開発プロジェクトは昭和49年11月に各々、協定締結し、両プロジェクトとも本格的な協力事業を実施している。両プロジェクトとも、かなりの農業機械、車輛等の機材を供与し、着々と協力の成果をあげているが、これらの供与機材の中には修理・補修が必要となっているものも多くできてきている。については供与機材の有効利用のため、これらの修理・補修について指導・助言を行うことを目的として調査を行った。	52	巡回指導	52.11.21～52.12.25	4	4,886					4,886	
インドネシア、タイ土壤肥料分野巡回指導 調査期間：52.12.6～52.12.14	インドネシア・ランボン農業開発プロジェクトにあつては、52年11月より3カ年の協定延長が決定され、タイにおいては、かんがいプロジェクトが新たに8月から発足した。両プロジェクトとも当該地域における土壌との関連で供与機材施肥計画等の検討が緊急となっている。 については、これらの事項を中心にプロジェクト関係者と協議するものである。	52	巡回指導	52.12.6～52.12.14	4	1,829					1,829	
インドネシア、マレーシア、フィリピン農業協力プロジェクト協力	開発途上国における農林業協力事業プロジェクトの拡充に適切に対処するため、過去のプロジェクトの事前調査と、その分析	52	基礎調査	52.2.13～53.3.4	5	6,815					6,815	
		53	(同上技術費報告書作成)			8,979					8,979	